

聴衆と共に歩む

合唱主体の第9へ！

ドイツ公演は来年実施の方向で

1988年度第9合唱団定例の総会が5月19日約60名の団員参加のもとに盛
会裡に開かれました。有藤民田長が衰中で出席出来なかったため、代って田中副
団長があいさつ。この後直ちに議長を送出。一年の総まとめと、新年度の活動目標
などが審議されました。

議長には竹沢学さんが選ばれ、総会書記に清田和泉さんを指名、総会の議案が次々に従って提案されました。最初に田中副団長より1987年度の活動経過が報告され、オ9合唱団の歴史にも触れながら昨年の活動状況や、オ9合唱団の置かれている社会的立場、音楽内容、組織問題等、反省点や、評価などが多角的な視点から提えられ、一年間の総括が述べられました。

続いて上野事務局長から決算報告が行われ、昨年の演奏会の盛況によって、この数年続いていた赤字が解消されたと明るい報告があり、会計監査の正木新樹さんより会計整理の適正、正確なことが報告されました。以上3議案について一括採決の結果満場の拍手で可決承認されました。

1988年度の運営方針は渡辺運営委員が提案理由の説明を行いました。昨年に引き続き合唱主体の第9演奏会としたい。又15周年記念イベントとして計画されていた「ドイツ公演」については来年度実施する。ことなどが提案され、そのためにも今年の演奏会を成功に導く原動力である団員の増加に全員が努めることが、かんじんであると締めくくりました。そして1988年の指針である4つのスローガンが力強く読み上げられ、これまた満場一致で可決されました。

予算案は上野事務局長が再び説明を行い、87年度に準拠した実績主体の予算案であるが、本年度より活動費や運営費にウェイトを置き、実質活動の活性化と充実をはかりたい旨提案されました。この議案も異議なしと原案通り可決されました。

最後の議案である新年度役員については司会者一任の声があり、事務局より提示された別項の通り承認されました。なお諸般の事情で今回退任されました、秋山若久さん、小林(旧姓岡田)近子さんには花束を贈り感謝の意を表しました。

1988年度の第9合唱団役員

＜アイウエオ順に掲載＞

團 長	齊 藤 民	再 任	運營委員	引 田 貴 美 枝	新 任
副 團 長	阿 部 延	〃	〃	福 田 朋 英	再 任
〃	田 中 清 巳	〃	〃	正 木 民 子	〃
			〃	松 原 真 介	〃
運營委員	赤 羽 洋 子	再 任	〃	茂 木 晴 子	〃
〃	有 阪 保 彦	〃	〃	吉 井 秀 明	〃
〃	安 藤 昌 子	〃	〃	若 井 昂	〃
〃	植 原 阿 佐 子	〃	〃	渡 辺 義 之	〃
〃	小 林 紀 子	〃			
〃	竹 沢 学	〃	事務局長	上 野 道 昭	再 任
〃	塚 越 玲 子	〃	事務局次長	松 本 茂 晴	〃
〃	長 島 好 江	〃	會計監査	伊 波 泰 子	〃
〃	羽 鳥 千 春	新 任	〃	正 木 新 樹	〃



仲岡同志の 音楽会

いつも楽しいミニコンサート

総会終了後、引続いて行われるミニコンサートは、もうすっかり定着して、団員の大きな楽しみとなっています。指導の先生を中心にピアニスト、一般団員を混え、普段は聴けない「音楽の競演」が繰広げられます。

演奏して下さった方と曲目は、次のとおりです。次の機会にも是非よろしく願います。

1. 清田和泉 ピアノ 華麗なる円舞曲 (シヨパン)
2. 赤羽洋子 ソプラノ 春の声 (ヨハン・シュトラウス) ピアノ伴奏 赤羽その子
3. 赤羽その子 ピアノ ラフソッティエ (ブラームス)
4. 松原真介 テノール 夢と悲しみ (トスティ) ピアノ伴奏 羽鳥千春
5. 羽鳥千春 ピアノ 小犬のワルツ (シヨパン)
6. 中島ゆい子 ピアノ コーラルとフーガより フォレリユード (フランク)

初めて入団された方へ

- 練習場は土足禁止です。各自スリッパをご用意下さい。
- 駐車スペースが少いので、遠方の方を除き、極力自動車の使用はご遠慮下さい。
- 一通り曲の練習が終了するまでは、休まないよう努力しましょう。はじめのうちに休むと仲々覚えるのに、苦勞します。ベートーヴェンの「苦しみを超え……」る為には我慢が大切。
- 連絡や団員の声がこのニュースに載ります。必ず読んであなたの意見も反映して下さい。

お知らせ
7-1-1

動きだした 15年目の第9

式産差の熱気

初心者には みんなで 気配りを！

6月2日、雨模様にもかかわらず15年目の第9発声式に60名を超える団員が集り、熱気のもったスタートとなりました。新入団員や団費受付などのため、定刻より20分程遅れましたが、有藤民団長の挨拶、田中副団長の組織や運営についての説明、指導を担当する先生方の自己紹介、続いて小林紀子さんより指導上の注意が行われました。更に新年度の運営委員、会計監査の人々も紹介され、一連のセレモニーを終了、直ちにパート練習に入りました。第9合唱経験者が圧倒的に多い所為か発声とした歌声がほとぼしるように流れ出ていましたが、これから新規入団員も増えてくることと思いますので、初めての方々をフォローするような気配りをお願いします。

団員期待の今年の合唱曲については、オーケストレーションの関係があり、これらの編曲について現在、NHKの南安雄氏と話合っていますが、本人のスケジュールが八月までは満杯ということなので、決定までには未だちょっと時間が必要とされます。

編曲 南安雄氏と交渉中

ソリスト S 楽団 M 専念
T O O 日 主 導

編曲 南 安雄氏と交渉中
ソリスト 5 常森寿子、メゾソプラノ 安念千重子、テノール 田口興輔、バリトン 工藤 博の諸氏に決定しました。常森さん、安念さんについては既に、高崎やりでおなじみですが、田口さん、工藤さんについては初めての出会いで、どんな声か聴けるか楽しみの一つです。私たちの合唱もソリストに負けないよう、厚みのある歌声を響かせるよう一生懸命努力しましょう。

第9合唱団の今年の指導陣は総括を阿部延、ソプラノ小林紀子、赤羽洋子、アルト長島好江、塚越玲子、テノール松原真介、バス阿部智、ピアノ中島ゆい子、清田和泉の諸先生です。それぞれ皆さんもお忙しい方ばかりなので、全体指導は松原先生をはじめ随時交替となることもあると思われますので、ご諒知下さい。ピアニストについては、あと1名欲しいので、団員の中でチャレンジしたい方は是非お申出下さい。

手創りの味 高崎第9ニュース

〈副團長〉 田中 清巳



高崎第9ニュースが、今のような形で毎週発行されるようになったのは、10周年記念イベントとしてNHK交響楽団を招へいた1983年のことです。その前年は高崎第9合唱団のどん底とも云うべき年で、団員数が90名、演奏会も赤字という悲惨な状態でした。そんな中で行われたN響の招へいは大きな反響を巻き起し、300名を超える団員が集まりました。

あまり多勢だったので、口で言っても話が通りません。そこで団員のコミュニケーションをはかる媒体としてこのニュースを休まず発行することになりました。それまでは不定期刊で、内容も連絡事項が主体でしたが、団員の交流の場として自由な紙面解放を軸に、団の動きや集会の宣伝、自己PR、ベートーヴェンについて……など多創りをモットーに発行されています。

最初は期待した程度原稿も集まらず、浅学非才の悲しさ、手持のネタも切れて「暗い日曜日」を四苦八苦。NHKTVの取扱いには「ニュースを作るのが楽しみ…」とヤラセをやらされ、以来一念発起、テレビで放映された以上、後戻りは出来ない、いつしか6年目を迎えました。B4版という限られたスペースなので、毎回同じようなパターンになってしまい勝ちですが、題



字部分のレイアウトを毎年換えたり、カットに季節感を盛り込んだり、それ
 などの工夫はしています。〈カットはエンマ帖からの引写しが多い。〉

昭和一桁の習性でしょうか。「勿体ない」という感性が未だ抜け切らないので紙面を余さず、きっちりと埋めつくすことが出来るように心掛けています。それでも全体のバランスも考えた余白も必要なので、手元にある原稿の長さや遊びのスペースを頭に入れて書くわけですが、これが狂うと下段の方で小さな字になったり、その逆になったりして、つじつまを合わせます。もつとも自然に、なったりはしないわけで自分自身意識的にそうするのですが、皆さんがご覧になる時は、そうなっていると受取られるのでしょうか。そんな時には「あいつ、また狂ったな」と独り笑いして下さい。それがストレス解消に役立つとしたら、これまた以って腹すべし——です。

とまれ、あと11枚書けば、通巻200号となります。出来れば200号記念特集号を出したいと思っていますので、古くからの団員は昔の思い出を、新しい団員は「オウ」への抱負や未来の夢など、どれどれお寄せ下さい。

オ9ニュースは資料の散逸を防ぐため、一年分毎に縮刷版として団員に配布しています。一冊の原価が600円かかりますが、私たちの音楽文化運動の足跡として、長く続けて行きたいものです。表紙にはその年の演奏会のポスターをそのまま載せてありますが、N響の時は別にしても、入場料が全く変わっていないのには驚かされます。オーケストラや指揮者、ソリストなどギャラは年々上っている筈なのですが、それだけ高崎第9の組織が安定化している証拠なのではないでしょうか。このニュースの果たしている役割誠に大。これ自画自讃です。

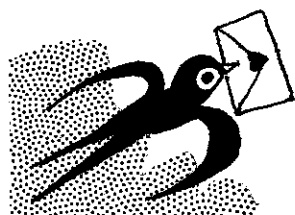
あなたも出せる 美しい声
呼吸法の体得が大切！

〈運営委員・ソプラノ指導〉 小林 紀子

歌うための発声法について書かれた本は数多くありますが、それらを熟読してみても、歌が上手になれないわけで、発声法は自分の身体を楽器として使って習得し、身体を本能的に運動できるようにすることによって、はじめて、理論が納得できるようになるものでしょう。

発声器官や共鳴腔などの先天的な個人差はありますが、だれでも、その人なりの、よい声を出す能力を持っています。ところが、日常生活の中では“のど”の力を抜いて声帯の反応をよくするような体の動きや訓練をしていませんから、本来持っている能力を引出しきれずにいるのです。発声練習の際に先生がいわれる頭のてっぺんとか、背中やお尻（失礼！）足とかは声を出すことに関係ないと思っていると大違い、それらの器官の働き次第で呼吸や発声器官の調子が変わってくるのです。発声の仕組みは

1. 動力 → 呼吸を出す。
2. 振動 → 音をつくる。
3. 共鳴 → 音色をつくる。
4. 調音 → 加工する。



等からなり、人間の発声器官は管弦樂と思えばよいわけで、肺から息が管を通して送られ、のどの弁が震え、のどから口、鼻と続くあたりに共鳴し、舌や唇などの複雑な働きによって仕上げられ音声となって外に出ることになります。この過程の中でも発声の練習は呼吸法に始まり呼吸法に尽きるとさえ云われる大切な、またそれだけに非常にむずかしいことでもあります。まず、毎日の生活の中で歌うための呼吸（腹式呼吸）を練習してみましょう。そして歌ってゆく過程でその呼吸を見つけて体得してゆくことが大切なことです。「歌声を出している瞬間は息を吐いているのであって、息を吸う時は歌声を出していない」という当然すぎることを考えますと、どのように息を吐くと発声器官が都合よく働けるか？ということから出発して目標に向けて根気よく、気長に取り組みたいものです。



夢よ もう一度……………

＜アルト＞ 菊池佳子


 みひろは
 今、夜の11時半、才1回目の練習から帰ってきて興奮さめやらぬ、たかぶった気持ちのまま書きました。とにかく素晴らしい歌声ですね〜 私は仲間に入らずに聞いていた方が良いでしょう。今夜はどうも眠れそうにもありません。でもこの声の中に自然に入っていける日がいつか来る様に頑張ってみましょう。

私にとって合唱とはまさに青春そのものでした。10代の終わりから20代にかけて合唱と共に笑い、そして涙した……といってもけっしてオーバーではありません。けれど子育てにおわれたり、忙しさにまぎれたり、いつの間にか合唱と縁遠い生活になってしまいました。ただいつか第9を歌ってみたい……そんな思いがずーっと何年も心の奥にあったのです。そして今年念願かなって入団出来ました。

皆で一つの目的に向って努力し、そして歌い終った時のあの何ともいえない、すがすがしい感動、そんな気持ちをもう一度味わえたらいいな……なんて思っています。青春よふたたび……夢よもう一度という所ですね。———— 12時になってしまいました。相愛

これしかない 高崎第9

〈ソプラノ〉^{はたの}秦野 千賀代

みなさんはじめまして！今回初めて参加させて
いただくことになりました。不束な娘ですが
もどうぞよろしくお願ひ致します！今回何故、第9合唱団に入団したかと申しますと……

以前から音楽大好き人間、学生の頃は音楽部などというものに入り、しょうちゅう（注：稿題）唄っていました。中学生の時に「美しき青きドナウ」を音楽コンクールで合唱して以来、合唱というものの楽しさ、苦しさを知りました。社会人になってからは、唄う機会もなく、音楽はもっぱら聞くだけ、あゝもう一度大きな声を出して唄いたい！と思っていましたら、新聞で才9合唱団の団員募集を見まして、これしかないと思い今、現在に至っております。

初日の練習に参加しての感想を申しますと、もうとにかく驚きました。みなさんとても
お上手なんですよ。

ドイツ語もペラペラ。私の後ろから聞こえて来る美声に思わず、聞きほれ、一瞬唄うのを忘れてしまいました。それにご指導をしてくださる先生方の熱心さに感動致しました。私も早くみなさんの格に唄えるよう努力して行きたいと思ひます。

音楽センターの所から練習場に来るまでの銀杏並木が彩^{いろづ}く頃には、私の第九も彩^{いろづ}きますように……。〈そしてあなたの人生にも実^{いざ}りある彩^{いろづ}りのあらん事を！編集者〉

12時になってしまいました。相変
らず迫力のある歌声が、そして何故
か4月に見た満開の桜の花が頭の
中に一杯で、全然眠くなりません。
でも来園を楽しみに、そろそろオヤズミ
サイ——（'88. 6. 2～3記）

増やそうナカマ 増やそうヨロコビ

異子団員の増強が急務

＜運営委員・テノール＞ 竹澤 學

早いもので、1974年に産声をあげ、今年15回目の演奏会が廻る運びとなり感激で一杯です。大勢の合唱団員一人一人の情熱と献身的な指導者の呼吸がぴったりと合い長い道程を歩いてきたこの事実は誠に偉大であり誇りに思っています。

来年は、念願の海外遠征を計画中ですが、ここに解決を急ぐ諸問題があります。その一つに、参加人員の確保です。特に男子団員が不足している現状では満足な結果を得ることはどうてい無理なことです。

そこで、当面の課題として男子団員の増強キャンペーンを繰り広げて、早期にこの問題を解決したいと思います。まず「一人の団員が一人の男子を」をキャッチフレーズにして取り組んではいなかでしょうか。職場や学校そして隣近所の知り合いの中から最大級の努力をして、この問題を緊急課題として受入れていただきたいと思います。

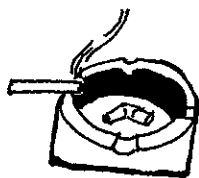
そして次の段階では、増員された団員が、軸になり前記同様の活動に取り組めば「もっともっと大きく強大な合唱団にすること」が出来るのです。

次にカネとヒマの問題ですが、これは個々の努力に一任する以外は解決法がなく、目的を果たすためには毎日の祈りと信念が結論を出すのです。

合唱の喜びと美しさは何と言っても「大勢の声と心が一つになる」ところにあるのではないでしょうか。来年の海外遠征が並のイベントで終わることなく、終世忘れ得ぬ最高の思い出となるよう一人一人の可能性と実行力に全てを託して今年を歩み続けようではありませんか。

原稿募集

長い苦難の彼方には必ず「喜び」が
あなたを待っています。

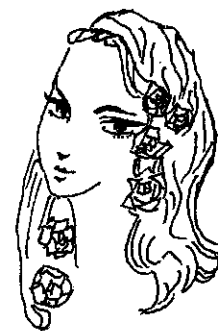


集 纂 稿 原

400~800字程度。何でも
締切 毎週木曜 事務局まで

独身最後の思い出に

〈ソフアラノ〉 青木睦子



歌のひろは

みなさん、はじめまして……。

まだ1度しか練習をしていませんが、とてもたのしく参加させていただきました。お腹^{なか}の底から声を出して唱うということ、こんなに気持ちの良いものかと感じました。ストレスのある人などはここにきて、うたって行けばストレスも解消されると思います。

今はまだ夏ですが、半年後の12月がたのしみです。独身最後の思い出になれば最高です。みなさん、どうぞよろしくお願いします。

ソリストの
プロフィール

常森 寿子 (つねもり・としこ) ソプラノ

東京芸術大学卒業。安部幸次、浅野千鶴子に師事。
1966年、「カルメン」のミカエラでデビュー。その後「マノン」のブゼット等に出演。

1968年に渡欧。ローマ（サンタチエチリア音楽院）、シエナ、ミラノ、ルガーノ、（スイス）に留学し、ジョルジョ・ファバレット、ロート・マーリングに師事。

1970年にロレーゴ国際声楽コンクール第2位、ジュネーブ国際声楽コンクール銀賞受賞。

1972年に帰国。「フィガロの結婚」のスザンナ、「ドン・ジョバンニ」のツェルリーナ、「ジヤンニ・スキッキ」のラウレッタなどを歌うほか、リサイタル、N響ほか各オーケストラと共演。1977年には「フィデリオ」のツェルリーナ、「ルチア」のルチアなどの名演で、ウィンナワールト・オペラ賞、第9回鳥井音楽賞（現サントリー音楽賞）を受賞。その後も「カルミナ・ブラーナ」のソ프라ノソロ、「ウィンザーの陽気な女房たち」のアンナ・ライヒ、「ヘンゼルとグレーテル」のグレーテル、「真夏の夜の夢」のタイタニア、「椿姫」のヴィオレッタ、「リゴレット」のジルダ、「魔笛」の夜の女王、などで活躍を続けている。

1983年11月に行ったリサイタルに対しても芸術大賞が贈られた。

この他、コンサートでも「第九交響曲」、モーツァルト、フォーレ「レクイエム」、マーラー「交響曲第四番」、等で活躍。

コロラチュラの曲ばかりを歌った「うぐいす・バラそして春」を発表。

高崎第9合唱団への出演は 1974年12月9日の第1回、1986年12月14日の第13回に続いて、3回目の出演となります。 <二期会会員>



ソリストの
プロフィール
2

安念 千重子 (あんねん・ちえこ) メゾ・ソプラノ

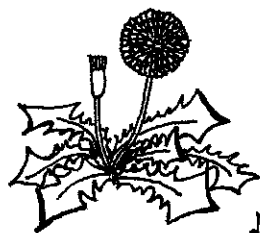
富山県出身。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。柴田睦陸、戸田敏子、佐々木成子の諸氏に師事。1961年新人演奏会(横浜市音楽堂)1962年ジョイント・リサイタル。その後NHKTVをはじめラジオ全国各地での音楽会で活躍。1973年「カヴァレリア・ルステカーナ」のルチアでオペラにデビュー。以後はオペラを中心としての演奏活動をつづける。

1975年「蝶々夫人」(スズキ)、「ハルカ」(ゾフィー)、1976年「ボッカチョ」(イザベラ)、「愛蝶」(バーバ)、「イエヌーファ」(スタジエンカ)、1977年「赤い陣羽織」(おなか)、「蝶々夫人」1978年「ミカド」(カティージャ)、「ちゃんちき」(おなか)、「黒船」(姐さん)、「消えた男のメモランダム」(ゼファ)、1979年「蝶々夫人」「かちかち山」(女)、「幽霊屋敷」(マドヴィカ)、「セビリアの理髪師」(ベルタ)、1980年「死神」(女房)、「虎月伝」(母親)、「愛たぐひとつ」(NHKTVオペラ)、「カルメン」(カルメン)、1981年「フィガロの結婚」(マルチェリーナ)、「葵の上」(照日前)、「香妃」(孝聖憲太后)、1982年「唐人お吉」(おせん)、「虎月伝」「蝶々夫人」「香妃」「耳なし芳一」(おふく)、「泣いた赤鬼」(女房)、「外套」(フルブラ)、1983年「黄金の国」(はつ)、「唐人お吉」「カウァレリア・ルスティカーナ」「天守物語」「蝶々夫人」「セビリアの理髪師」「ウィリアム・テル」(エドヴィージェ)「フィガロの結婚」、1984年「リサイタル」(東京文化会館小ホール)、「蝶々夫人」「椿姫」(フローラ)、「祝い歌が流れる夜に」(艶子)、1985年「ヘンゼルとグレーテル」(魔女)、「聴耳頭布」(母親)「蝶々夫人」「アイタ」(アムネリス)、1986年「黒船」「蝶々夫人」「白いけものの伝説」(母親)。
 など二期会、藤原歌劇団、長門美保歌劇団、日本オペラ協会、東京オペラプロデュース、創作オペラ協会、藤沢市民オペラや横浜シティオペラなどと、その活躍の場は広く、音質の豊かさと安定した歌唱力、演技には定評がある。1979年第7回ウィナー・ワールドオペラ賞を受賞。

またソリストとしても、ベートーヴェンの「第9」やヘンデルの「メサイア」などのオラトリオをはじめとして各地でのコンサート、NHKFM放送、テレビ等多彩な活動が続けている。1983年3月にはドレスデン国立歌劇場、ライプツィヒのゲヴァントハウス、ウィーンのミュージクフェライン、ザールでのベートーヴェン「第9」のソロなど国際舞台での活躍とその幅を広げている。高崎オ9への出演は昨年に引続いて2回目。

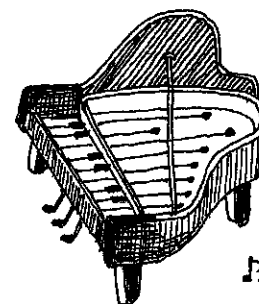
横浜国立大学講師。洗足学園大学講師。

〈二期会々員〉



ベートーヴェンと同じ頃のピアノ

〈運営委員・指導・ソプラノ〉 赤羽 洋子



以前から是非一度は訪れてみたいと思っていた、萩・津和野を4日間旅することができた。その成り立ちこそ違うが、どちらも城下町の風情をそのまま残している美しい小さな町である。庶民のくらしが昔のままに生きている、かくされたような小路の奥、あるいは朽ちかけた土塀、古い屋敷跡にたわわに実る夏みかんなどが、そのまま絵になり旅情をそとる。

東萩駅を出て城跡へ向う大通りを行くと、外堀近くに大きな塀と門の熊谷家と熊谷美術館がある。

豪商、熊谷家は、もと萩藩の御用商人であつた。歴代主人のうち特に四代は文化愛好者として学者や文人墨客に経済的援助を惜しまなかつた。ドイツ人のオランダ外科医、シーボルトとも親交をむすんでいた。当時シーボルトは長崎出島のオランダ商館の名医だった。そこで彼は丸山の遊女其扇（お滝）との間に女の子が生まれ幸わせにくらしていた。お稻と名づけられた彼女は、後に幕末から明治維新後の激動期を生きた自立した女性、日本最初の西洋女医となった。そのお稻がまだ幼い頃、シーボルトは、日本国内事情をひそかに調べ、オランダに通報していたことを幕府に察知され強制送還された。いわゆる、シーボルト事件である。

そのシーボルトが文政11年(1828年)に熊谷市に贈ったという現在日本に残る最古のピアノがそこにあった。⁷親愛なる熊谷氏に贈る。という直筆サインもはっきり読める。ちょうどベートーヴェンが活躍した頃と同時代のピアノだという。たとすれば同じような型のピアノから今に残る数々の名曲が生まれたことになる。

シーボルトはそのピアノを愛用しており旅に出る時でも足をはずれ、長箱に入れて、わざわざ道中を持ち運んだという程だったそうである。その割りに保存よく、傷みが見られない。今迄にも日本や中国古来の楽器、笙、琵琶、琴などは時折目にしたが、こんなに古いピアノには初めてお目に会った。音色を確かめたい衝動にかられたが、かけがえのない貴重なもの、それは当然できなかった。又、カバーは羊の胎児の皮を集めたそうで、柔らかく、それでいて堅牢、くすんだ彩色は実に渋く、歴史を感じさせるすばらしいものである。

“日本旋律集”という珍しい楽譜も残っていた。

これらの思いがけない出会いに感激し、旅のうれしい発見のひとつとなった。

この山陰の小京都と云われるしっとりとした救のたたずまいの倉の中で、今も静かに置かれているピアノ。幕末の激動期から、今の平和の時代までを、どんな目で見えてきたのであろうか。ベートーヴェンのことにも思いをはせたり、しみじみとロマンに浸ることができた。河盛好藏氏はこう云った。『若い日々は旅をせねば、老いてからの物語がない。』と。〈'88. 6. 20〉

童謡は音楽のふるさと

安らぎのメロディーで **精神**をリフレッシュ

〈運営委員・テノール〉 渡辺 義之

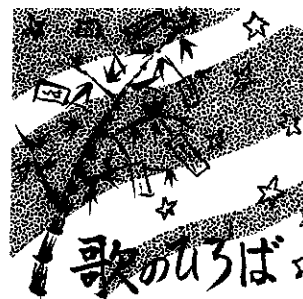
昨今は童謡ブームと云われている。「子供のためのうた」と云うイメージであった童謡が、今は世代を越えた歌であり、ヤングもミドルもシルバーもこぞって童謡を歌うと云うムードさえある。童謡の持つ、わかりやすいことは、素直なメロディー、はっきりしたリズムが現在の変化の激しい複雑な情報化社会に、一服の清涼剤の役割を果たしているのかも知れない。取場に於ても、家庭においても毎日のように新しい機械や、新製品が登場し、テレビの場面が変るように組織や機構や仕事の進め方が変わっている中で働いていると、一瞬自分というものを見失ってしまうことがある。

そのように、心と体が疲れたときに、美しい童謡のメロディーに触れると何とも云えないなつかしさと優しさに心が満たされて精神がリフレッシュされる。理屈もなしに素直に音楽の波に身をゆだねる時に、幼時に母の子守歌で安心して眠ったことを思いおこしているのかも矢口れない。

生きる力と喜びを与えてくれるのが音楽の本当の姿とするならば、それを求めて休むことなく活動が続けている高崎第9合唱団の究極の目的は、いつでも童謡のメロディーに安らぎと喜びを見出すことと同じなものでない。あと半年、一生懸命練習を積んで、12月の演奏会では、人間性の本質に触れるような、良質の音楽を表現してみたいと思う。

今年の合唱曲 童謡メドレーに

6月30日の練習終了後、緊急運営委員会が廃かれ、今年の合唱曲についての協議が行われました。これは、今までいろいろ接衝を続けていた作曲家の作品のうち、時間的に早くオーケストレーションやアレンジが出来るものとして平井哲三郎先生の「童謡メドレー」と「子供の四季」が挙げられ運営委員会として「童謡メドレー」とすることに決定しました。混声4部（原曲は女声合唱）の編曲をお願いし、オーケストラの伴奏で「赤い靴」「七つの子」など9曲で構成される予定です。



心底歌或大好事

＜ソフ・ラノ＞ 室賀由香里

現在私は、北高校の1年生です。小さい時から、音楽が好きで、中学の時は、3年間、合唱部でがんばっていました。心の底から歌が大好きです。中学生の時から、音楽の先生に、第9合唱団の事を聞いていて、ぜひ入りたいとずっと思っていました。

私にとって、最初の練習日は、みなさんがお上手だし、雰囲気は暖かいし、とっても感動しました。私も一日も早く、上手になれるように、自分なりに一生懸命努力したいと思います。“12月の公演を目指して”。

PS. 私は明るい性格です。早くみなさんとお知り合いになって、もっともっと楽しくやっていきたいと思います。よろしくお願いします。

田口興輔 (たぐち・こうすけ) テノール

国立音楽大学卒業。同専攻科修了。武岡鶴代、渡辺富之助に師事。

「パリアッチ」のカニオ、「ナクソス島のアリアドネ」のブリデッラ、
「ボエーム」のロドルフォ、「マクベス」のマクダフ、「リゴレット」のマントヴァ、「夕鶴」の手ひょう、
「ひかりごけ」の西川、「ホフマン物語」のホフマン、その他多くのオペラに出演。

コンサートではバッハの「マニフィカート」、ベートーヴェンの「交響曲第9番」、カンラン山
上のキリスト」、シューベルトの「変ホ長調ミサ」、ブルックナーの「テ・デウム」、ヴェル
ディの「レクイエム」などのソロを歌い、コンサート・シンガーとしても貴重な存在である。

1975年秋から一年間文化庁派遣芸術家在外研修員としてヨーロッパに留学。帰国後も「ファウスト」のタイトル・ロール、「夕鶴」の手ひょう、「トロヴァトーレ」のマンリーコなどを歌い活躍を続けている。高崎第9は初めての出演〈二期会々員〉

高崎才9ニュース 200号記念原稿募集

高崎第9ニュースは、1983年5月12日号より現在のスタイルで練習日の都度、休まず発行され、来る8月25日に200号が発行される予定です。6年目に達成される200号を記念して、団員の声を特集したいと思いますので早目に原稿をお寄せ下さい。字数は400字程度、200号記念原稿と書いて8月4日までに事務局へご提出下さい。



ソリストの プロフィール 4

工藤 博 (くどう・ひろし) バリトン

神奈川県生まれ。東京芸術大学及び同大学院修了。畑中良輔に師事。

二期会オペラには1974年「魔弾の射手」のキリアンでデビューの後、「蝶々夫人」のシャー・フレス、「椿姫」のジェルモン、「フィガロの結婚」の伯爵、フィガロ、「ヘンゼルとグレーテル」のペーター、「夕鶴」の運ず。他多くの作品に出演する一方、「メサイヤ」、「第九」等のソリストとして活躍。また、シューベルト、マーラー、ラウエル、中田喜直等、多方面にわたる歌曲の演奏を放送その他で行い好評を得ている。1984年藤沢市民オペラ「ウィリアムテル」のタイトルロールの好演に対し、第12回ジロー・オペラ賞を受ける。

〈二期会々員〉

生命の誕生 (Partus・出産) と第九の意味

＜バス＞ 中嶋 秀明

Guten Abend! Ich heiße Hideaki Nakajima. (今晚は、私の名前は中嶋秀明と申は

Ich jetzt ist wohnen Kanra stadt. 私は今、甘楽町に住んでいます。

Ich jetzt lernt Deutsch, Französisch, Englisch, Latein. います。>

そして、私の夢は獣医になって、アメリカ、ドイツ、フランスへ留学しようと思っております。しかし、私は高校生でありながら学校では博士と呼ばれています。それは、私が実業高校に入学した時畜産や微生物の先生に、先生も知らないような専門用語を使ったりしていたので、そういう名が付いたのです。事実私は獣医学や外国語など様々な事を学んでいます。そのこともあり、私は今先生の助手の様なことをやっています。特に畜産の分野では、学校で飼っている動物の手術は、私が執刀(手術)をしています。しかし私は今までに出産に立ち合った事がなかったのです。(紙の上では一応やりましたが)。ですが 7月3日午前7時20分に私は、牛の出産に立ち合ったのでした！ 生れて初めて仔牛が出した声、その時私の頭の中で“やった!!”と思った時、第9が頭の中に流れていました。その日は期末テストだったのですが、テストの間も第9が頭の中で流れていました。そして今日(7月7日)そろそろ豚の出産が始まります。その後は、友の飼っている猫の手術です。私はこれから先、自分の手がけた患者が全治するたびに頭の中に第9が流れると思います。 第9 それは喜び、そして活力ある生命の歌 / Ich liebe 第9、く私は第9を愛している / 全部ドイツ語で書きたかった〜！ 畜生！

別に 変な子じゃありません

＜アルト＞ 桑原 いずみ



歌のひろば

初めまして！アルトの桑原いずみです。オー、見ればおわりのように、高市女の2年です。去年入団したのですが、たい音を追っているうちにおわってしまったなあ……と思います。今年は、もう少し内容を考えられたらいいなあ……。オーっと、遅ればせながら自己紹介を。

生年月日 S. 47. 2. 9. みずがめ座. 16才 / 血液型 AB型 / 住所 群馬町
/ 趣味 読書. ピアノを弾くこと... etc. / 好きなもの もも, うなぎ, いくら.

とろ、うめぼし / 大切なもの 本、CD、オルゴール / 嫌いなもの あぶら肉
他にもいろいろ書くこと、あるかなあ…… あっ、音楽は、CHECKERS, S.A.S. 斉藤由
貴、薬師丸ひろ子、グレン・ミラー、ビリー・ヴォーンなどを聞きます。(何かメチャクチャだけど)
……それと、すごく笑い上戸です。(昨日はお昼の時笑ってしまって、半分も食べられなかった…)
どうぞ どんどん話しかけてきて下さい。 別に変な子じゃありません。(と、自分では思う。)

健康的な コーラスの 魅力のとりこ

＜ソアラノ＞ 井上八重子

はじめまして……主婦を15年以上しています。先日突然10年近く音沙汰のなかった儀田^{ノリタ}さんから電話が来なくてきましていきなり「飲みに行かない……」などと誘われて旧交を暖めているうちに第9に入りたいね……という話に意気投合しました。

木村先生に子供2人が幼稚園からピアノ指導を受けて居
ります関係から、練習日と場所を教えて頂きまして、全く

の素人なのに あつかましく出掛けてきました。

リサイタルは小林紀子女史をお聞きしたことがあります。松原先生の声量には驚嘆させられました。素晴らしい健康で初日からコーラスの魅力のとりこになってしまいそうです。今後共宜しくお願い申し上げます。

はじめまして。私は今年 埼玉の某大学の短期大学部に入学した、平凡な女子短大生です。幼児教育を専攻しているので、学校では童謡ばかりうたっています。合唱の経験は中学生の時の3年間で、それならいつかはこのオウを始めようと思うと、思い続けて、今やっと入団したというわけなのです。とにかく歌うことが大好きなので、週に一度の練習で、おもいっきりうたいたい……と思っています。

いつも暮になると、ベートーヴェンの第9番を聞いて感動しているのですが、今年は、自分も演奏の中に加わってうたうんだな……なんて思っていると今からちょっと娘になってしまう今日の頃です。第9に入るのは初めてなので、いろいろな面でどうぞ、よろしくお願いします。

歌うこと
大好き

〈ソフ・ラ〉 田村陽子

淡谷のり子コンサートに寄せて (I)

生命ある限りこの唄を

＜ソフアラノ＞ 小 泷 小 夜 子

去る6月26日、吾妻文化会館にて午後2時より4時まで、渋谷のリ子先生の世界にどっぷりと浸り、感動がやがて感激に変わったのでございます。思いがけず5月の始め、二部構成で一部の終りに、一曲は別れのブルースをこちらで編曲して歌って欲しい事、あとの一曲は山百合合唱団の曲をと依頼されました。

初めての試みだそうで、指導者の加藤泰志先生は一晩で編曲し、翌日練集日でした。全員歌った所、歌いや
すく、すばらしい出来ばえでした。この機会に吾輩でもオペラに情熱を燃やしている先生だけに、是非独唱私
はお願して見た所、加藤先生は、天下の淡谷先生の前ではと断わられてしまいました。と云うが、淡谷先生は「い
いですよ」と返事をしてくれ、サン・ルチアのリクエストになりました。

当日、渋谷先生は舞台から去らず、椅子に座って編曲をじっと聞いて下さいまして、上品なブルースで服部良一先生にカセットテープで良いから送ってあげたいとの事。亦独唱についてはマイクでなく歌えることは羨しい良かったと褒めて下さいました。当日二日前に草津町より大噴火太鼓が一部の終りに友情出演が決定。初めて見る、群馬県にも二つとないのではないかなと思われる大太鼓が登場し、勇壮なひびきに圧倒されました。

さて渋谷先生ですが10時30分会館に入り、リハーサルが始まりました。私共も勉強の爲にとお願いした所、ちらはってきく事が出来ました。結城先生のピアノは迫力と息がピッタリ合い、ラ・フンパルシエ、懐かしい曲であり、サ一声は全くの驚きで、声の衰えなんて全くなく、12曲通され私共は全くのくぎ付けになり、からだは動かず耳だけは緊張、目はパツチリまたきもせず、終わったあとほうぜんとしてしまいました。加藤先生が前以って、本物中の本物で、喉の奥が良くあき、安定した正しい発声であり、音域の広い歌であっても、いつも平らに聞える事、それに人間的にも折り目正しい人である事を全員に教えて下さいました。

私も主人が 淡谷のり子 著「頭の悪い女と云わない子に」という本を買ってきてくれ、急ぎ読みました。総ての面で高いものを求め、良識者である先生であります。82才、歌一筋丹熟した「生命ある限りこの唄を」、このタイトルにふさわしい、こんな機会に恵まれた事を心より感謝せずには居られませんでした。

開演5分前、記念撮影があり、私の手を握り「今日はどうも有難う」とお礼を言われました。「先生の手はどうして冷めたいのですか」「音楽に心は燃えています。」「今日は90分のおばあさんが来ています。宣伝カーに乗った時、いつ迄も元気でいてテレビで歌うようお願いして下さいとの事です。」 <次号へ続く>



歌った後の爽快感に酔う

＜ソプラノ＞ イソタ 磯田真由子

春になったら罷ひたとう。何かをしようと考えていた矢先、息子から「お母さん、だらしがないよ。もっと何かがんばれば…」とハツパをかけられ、たまたま前号の井上さんと「オ9をうたおう」ということになりました。文学時代に コーラス部で イエスタデーをうたったことが懐しく思い出されます。

保母時代には保母学校という、うたう機会もあって又日々、子どもたちとシューベルトとか、林光さんのうたをうたっていました。OLに転職してすっかりうたう機会もなくなって、身も心も硬くなってしまったのですが、三回レッスンに参加して、お腹から声を出してうたった後の爽快感に酔っています。ドイツ語も大学時代に挫折したのですが、発音練習をしていると、当時を思い出して、とても新鮮です。

「うたうということは、体全体が楽器です」と言われたことはに納得しました。楽しくいきいきと、12月までがんばりたいと思います。よろしくお願いします。

耳でなく、心でなく、
歌う側の感動を！

〈ソフ・ラノ〉 上野 貴代

“あの感動を聴く側でなく、うたう側で味わいたい。” このことを心に必め、私は練習に励んでおります。

昭和62年12月24日、クリスマス・イブ——

以前より友人から入団を勧められ、演奏会も見に行きましたが、その日は今までにない感動を受けました。そして学生時代に合唱でうたい終った時の、あの何とも言えない満足感と感激が私の身体の中で、ひしひしとよみがえってきたのです。

“来年は何としても入団し、第9がうたえるようになりたい。”この時の決意が、実り、毎週木曜日が待ち遠しく思われます。

私は現在ヤマハピアノ教室の講師をしています。(まだまだ経験が浅いので、先輩の先生方にアドバイスをいただいたり、壁にぶつかり、転んでは一歩ずつ進んでという状態です。)毎日ピアノにむかい子供達とともに勉強するのは楽しいけれど、なかなか大変です。全然練習してこないでレッスンに来たり、なかなか音譜が覚えられなかったり……そうすると楽しいはずの音楽がつまらぬことによって、苦痛になるのではないかなと思えることもあります。子供相手の職業のせいか、だんだん視野が狭くなるような不安にかられたこともありますでしたが、もっと大きな心で、そして12月の初舞台に備え、前進あるのみですね。頑張りますので、よろしくお願い致します。お気軽に声をかけて下さい。

BEETHOVEN
SYMPHONY

淡谷のり子コンサートに寄せて (II)

野菊も咲かすばたの草

〈ソプラノ〉 小 淵 小夜子

淡谷先生は、ブルーのアイシャドウを通して、涙があふれていました。ピアノが鳴り閉幕です。ラ・フンパルシエタのメロディ、リハーサル以上本番のすばらしさ。会場は水をうったように静かでした。

翌日我が子の電話は「あの先生の歌う姿をみて、かんばらなくて」「勇気が出た」「もう一度中絶策へ」皆さん同じ気持ちでした。

このコンサートを通して私、心って大切な事を、人間を磨く事だと思ったのです。高崎第9に入ってから2年生ですが、初めて入団した時、事務局の人達の心からの親切な態度、指導者のなごやかさ、いつの間にか歌い上げていく指導力、周囲の人達の暖かさ、15年築きあげてきた雰囲気、この心をこの一年で嘗ったと私は思いました。実はこんな大先生にどう接して良いのかわからなかった私やはり会長と云うのは、こんな時悩むのですが、山百合合唱団のイメージを伝えるのは、真心であると思えました。風の如く伝わったのが何より嬉しく思いました。これから木曜日の夜、4時30分列車で高崎へ何かを求めて— また出かけます。

コンサートの翌日 さらに筆字で

ひとすじの道生きてきて あなあかと いのちの果てに 燃ゆる夕やけ
色紙が届きました。感激しました。この色紙は 有藤 氏 先生にも届きました。「淡谷のり子コンサートで、ユークな誠みに 県合唱連盟に加入している団体の皆さんの出演を心よりお慶び申し上げます。」というメッセージを戴きました。野菊の花も咲かなければたの草、これからも努力したいと思っています。
〈7月10日記〉

みどり会
お母さん
コーラス

10周年記念演奏会

'88. 7/30 (土) PM 6:30 ¥500-
高崎市文化会館ホール Sop 山岸まで

指揮 齊藤 民
ピアノ 土田 菊穂



第9合唱団
暑気払

8月18日(木) 練習後
¥1,000 高校生以下 ¥500
PM 8:00 ~ 練習会場で行います。

合唱は生活の潤い

〈ソプラノ〉 桜井 ちふみ

ピアノも弾けず、高い声も出ない私についていけるのかしらと思いつつ入った第9は、今年で3年目になります。歌うのが好きというだけで、いまだによく歌えません。

最近では会社の女の子と食事に行くのが楽しみで、今度はどこのお店にしようかと頭をめぐらせている私です。(ダイエットするというのはどこに行ってしまったのでしょうか。)

先日、会社の近くの水田の周囲を歩いてみました。車で通り過ぎると見過ごしている風景も、足を歩くと違ったものにみえてきました。

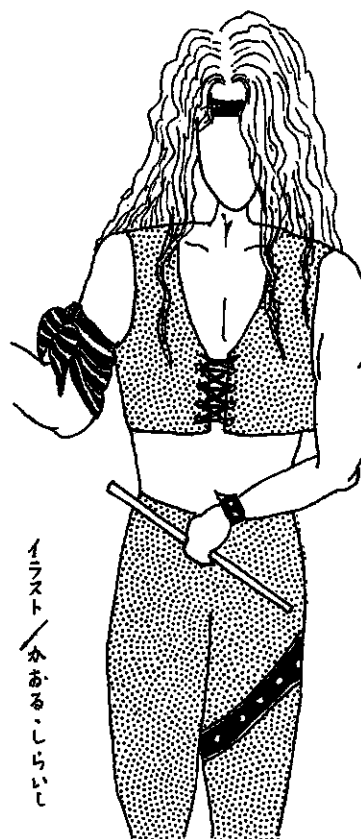
暑いなかにも、水の流れる音を聞いていると涼感があり心がほぐれてくるのを感じます。そして木々の濃い緑にも生命の力強さを感じます。私にとって合唱は体力増進、ストレス解消……といった生活の潤いかもしれません。

第9とは関係のないことしか書けなくてどうもすみません。『Tシャツが早くこないかな』とワクワクしている、こんな私ですが、ご指導の先生方、皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

※掲載が少し遅れました。Tシャツももうお手元に届いたと思います。

HEAVY METAL 大好き!

〈ソプラノ〉 白石 馨



イラスト／かある、しらいし

はじめまして。今年から高校生をやっています。中学生の頃は合唱部に入っていたのですが、高校では全く関係のない部活に入ってしまったので、いつも、合唱をやりたいと思っていました。……ら、友達が誘ってくれて、入団することができました。歌は上手いけれど歌うことが大好きです。

いっしょうけん命頑張りますのでよろしくお願いします。私は HEAVY METAL とか HARD-ROCK が大好きです。NEW MUSIC や ROCK も好きです。もちろんクラシックも大好きです!!

絵なんかかいてしまって、いろんなかもぬってしまってごめんなさい! 〈※コピーでは色付きでなくて残念。一編集子〉
では本当に頑張りますのでよろしくお願いします!!

ベートーヴェンの記念館を訪ねて

〈ソプラノ〉 中島とよ子



ウィーンは過去何世紀にもわたってヨーロッパの政治文化の中心だった。市街はそれに相応しい華やかな歴史に彩られていました。市立公園にはヨハン・シュトラウスや楽譜を持つベートーヴェン、シューベルトの青銅の大きな像が並び音楽の都らしいムードに満ちていました。

ベートーヴェンはウィーン生活の35年間にウィーンの市街地の26ヶ所の館を始め郊外や近くの町での生活を数えると79回も転居したと言いますから、それな

りに逸話や言い伝えが多かった事でしょう。

私達はウィーンの森(ウィーン郊外に広がる周囲80kmもの大きな森)近くのハイリゲンシュタットという所の記念館を訪ねました。彼の記録によると6年前から始った耳疾が悪化して気弱になっていた頃、窓から毎日近くの教会が打ち鳴らす鐘の音を聴いていたが、或る日揺れ動く鐘は見えただけで、その音が聞こえない事を知り、絶望感を深くしたベートーヴェンは1802年10月6日の日付で、この部屋で二人の弟に有名なハイリゲンシュタットの遺書を書いたといわれています。

館は2階建の中庭のある平均的な建物で、そこには当時を偲ぶ風景画と自筆の楽譜と遺書が展示されていました。而しベートーヴェンは聴力を失うという困難を負いながら作曲家、演奏家として1827年に死するまで活動して不朽の名を残しました。

ウィーンのオペラ劇場は世界でも有名ですが、市内のウイナー・ワルツの広場に毎晩9時になると多勢の音楽愛好者が集り、音楽を聴きながらワインを飲み、ワルツを踊って楽しむ様を見て、さすがに長年に亘って培われた音楽の都としての実感を味わったことでした。

高崎市民音楽連盟 35周年記念

みんなで聞こう、すばらしい合唱を

と き 1988.8.21(日) PM1:30

東京少年少女合唱隊演奏会 小・中生 ¥ 500. 演奏 東京少年少女合唱隊



ギンギンの夏が好き

＜ソプラノ＞ No.27 矢内由美子

皆さん、こんにちは。本当に高校野球の県大会まで始まっているというのに梅雨があけなくて、うっとうしい日が続いています。やっぱり雨よりはギンギンに暑い夏の方が好きです。アイスもおいしく食べられるし……ということで自己紹介させていただきます。

生まれも育ちも高崎で、学歴において高崎の名の付いていない所はありません。現在は短大卒業、河合の音楽教室の講師という名でピアノを教えています。今、仕事も第9も2年目ということで、2年目のジメツというのか、去年は何をやるのにも新鮮にうつっていたのですが、今年はどうも無気力で、生徒も慣れすぎちゃったというのか、いくら言っても注意力が散まらなくなって、発表会が近いというのに、なかなか曲も仕上がらず、イライラしてるというのか、あきれて怒る気にもなれないといった感じですよ。

そんな気持ちだから歌を唱うのにも気分的に晴ればれと歓喜の歌が唱えないのです。これで暑い夏が来て、発表会も終って第9でも新しい曲の楽譜でも配られる頃、きっとまた元気になるような気がします。いいえ、ならなければいけないですね。まだまだ未熟者ですが、どうかよろしくお願い致します。（※この原稿は7月中旬に頂きました。）

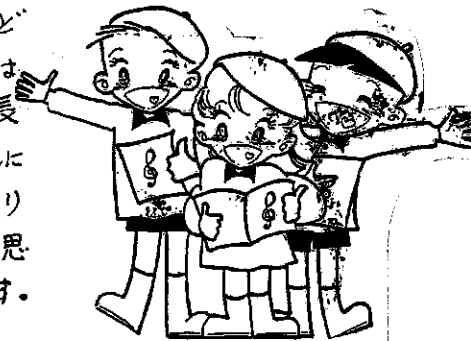
P.S. 現在合唱団「コールパーク」では団員大募集中です。一緒に唱って下さる方、毎週金曜日、青年の家までどうぞ！(音楽センター南、時間は勿論夜です。)

自分で歌って感動

＜アルト＞ 須藤 忍

アルトの須藤忍です。去年友達に「いっしょに入団しよー」と言われたのですが入団しませんでした。でも第9を聞いてとっても感動したので、来年は絶対に入団しようと決めていました。(今でも自分で歌っていて感動しています。)…では自己紹介を…

誕生日は 47年 3月 27日。16才だけど高2です。住んでいるところは高崎市
内です。趣味はお茶とお花 なーんて言いたいけど
ピアノを弾くこと、音楽を聞くことです。あと学校は
高市女です。特技はわかりません。特徴は髪が長
い、突然笑うなど……。笑うのは同じアルトの〇〇さんに
うっされたと思っています。学校の帰りに自転車に乗り
ながら第9を歌っている変な子ですが、今年1番の思
い出になるよう頑張りますのでよろしくお願いします。



意識の奥深くに「第九」が……

あたり前に歌えることに感謝

〈運営委員・テノール〉 吉井秀明

早いもので私も入団して4年目になりました。何も知らず、たいしたポリシーもないまま入団して“第九”を歌うようになったのですが、新しい仲間ができ、合唱する喜びを少しずつ自覚できるようになり、生活にも新しい一面を持てるようになったというところでしょう。

それにしてもこの“第九”という曲はどういう代物なのでしょう。実はこんなことがあったのです。お酒を飲んで少々酔って自転車で帰る途中、何か急に“第九”がこみあげてきて、いつの間にか大声で歌っていたのです。夜中のもう12時近くだったと思うのですが、星のきれいな夜でその輝く星たちに向かって「ダイネ ツァオベル……」と。その時は、酔ってたせいもあってとても気持が良かったのです。しかし、その場面をたまたま友達に目撃され、あとでバカにされてしまったのです。確かに、夜中に自転車に乗りながら、大声をはりあげている人を端から見れば変に思うでしょう。

もう一つもお酒がからんでいる話です。泊まりで飲んでいたので、少々飲みすぎて寝込んでしまったのです。そしたら寝言を言ったそうなのです。寝言を聞いた人の話では、初め何か歌を歌っているのはわかったそうなのですが、何だかわからない。しばらくよく聞いてみると、それが何と“第九”だったのだそうです。残念ながら自分ではまったく覚えていないのですが、それを聞いて自分でもとても驚いてしまいました。

とにかく、本能的な意識の奥深くにまで、しみ込んでいるようです。今年も崇高な“第九”にふさわしいように、本能にまで入り込んだ“第九”を、この気高い理性(?)で増幅して歌えるようにがんばりたいと思います。

今年から、普通高校（高崎北）へ転勤しました。生徒全員、あたり前に歩いて走れて、物がつかめて、発声できます。前の二葉養護の子どもたちは、そのあたり前のことが出来ないのです。

初めて、あの子ども達を前にした時のショックを思い出し、あたり前に声を出して歌えることへ感謝して、よりレベルの高い合唱を目指したいものです。

混声合唱パート占い

＜ベース＞ No.6 黒沢 悟

自己紹介は去年二度も書いたので今年には書かないことにします。
ですからもし皆さんの中で、あのベースの大男は一体何者か、と思
われる方がおられましたらどうぞお気軽に声をかけて下さい。

で、今年は私の決して長くはない合唱経験から、各パート別の性格分析をしてみたいと思います。ただ、これは血液型による性格分析と同じで、たまたまそのパートの人にそういう性格の人が多かった、ということなので、そのへんは御了承下さい。

ではまずソプラノから。ソプラノはそれこそ混声合唱の花形ですから、自分達無くして合唱は無い、と自負しているの、自尊心が強い傾向があります。そして同じパートの人よりも美しい声を出そうと競い合うので競争心も旺盛です。また、自分の出している声にうっとりして、指揮者の棒が止まっても勢いに乗ってそのまま歌ってしまうというのもソプラノにはよく見られます。この傾向はテノールにも見られるようです。特にテノールは高い音への挑戦が生き甲斐になってしまう傾向が見られます。こうなると歌っていて高い音が出てくると、やたらと声を張上げて自己陶醉したり、力まかせに歌って喉をつぶしてしまうという人が必ずいます。そういうことを「低能者」というのですが、幸い当団にはそういう方はいないようです。

ここでソプラノとテノールの方に共通する性格をまとめてみましょう。

1. 明るい 2. 自尊心が強い 3. 競争心が強い 4. 目立ちたがる 5. 勢いに乗ると止まらないエビセン体質 といったところでしょうか。

次にアルト。アルトは御存知のように合唱の中では目立たないパートです。ではその性格は、といいますと、ソプラノを若い女の子とすれば、アルトは下町のお母さんといった感じですね。つまり何となく暖かくて、人懐っこくて。アルトの方ならきっと思い当ると思います。ただ、その反面暗い、というイメージがあります。そして周りの人の声に合わせてしようとするのでどうしても消極的になってしまうようです。同じことはベースにも言えるでしょう。ベースも決して華々しいパートではありませんが、「本当の男の声」という自負を抱きつつ、「いつかは見ている、おれだって。」とテノールのように歌う日を夢見ている暗い性格が多いようです。ただ、ベースの場合は四部合唱の一番下で「鳴っている」のが聞いていて分るので少なくともアルトよりは救われていると……（これ以上書くと命が無いような気がします。）

ここでアルトとベースの方に共通する性格をまとめると、

1. 暗い 2. 協調性がある 3. 遠慮がち 4. 恥かしがり屋 5. おだてられてもすぐには乗らない といったところでしょうか。

思い付くままに書きましたが、ひとつご自分にあてはめて考えてみて下さい。願わくはこの文がニュースに載った日に、練習場の屋根の十字架に掛けられませんか……。

……… 〈※ ウソだ！ウソだ！アルトにも明かるい子がいるの知ってるゾー。編集子〉





2年目の第9

毎回の練習で収穫

〈テノール〉 伊藤 政重

昨年の初日は第9の初心者だった。こししの入団者の文章を読んで、入団を喜んでる人が多いので「立派だなあ」と感じた。それはたんに「若い」というだけのことではないようだ。

先生方の指導は「初心者でも休まずに練習にくれれば歌えるようになる」とのことだったが、それは私の場合にも一応証明された。しかしそれで音楽的に完成というわけにならないのはもちろんである。練習を振り返れば、パートのテープを買ってから毎日1時間位かけて歌い、流れに乗れるように努めた。しかし大曲だし理解は遅々としていた。発音、音の長短、高低、強弱、テンポ、感情表現等知識ではなく体で覚悟しなければならぬから、わかっていても簡単にいかないときがあり、又目の届かないところもある。それらを補完するものは、たえず先生の指導を心にとめて反復練習がよいようだ。特にうまくいかない所はその原因を追求することも反復練習とともに大切だ。ただこうしたことは音楽上の基礎をしっかりと持っている人の場合は余り関係がないようだ。又学生や働きながらの人の場合は時間的制約のため苦心されていることと思います。

こししになって練習日だけに限って第九を歌ってみたことがあります。それは適当でないことがわかった。歌は体でやるものだから、毎日のほうがよいのでしょう。

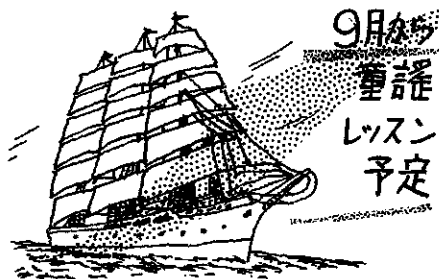
2年生ともなれば「先に入団した人たちの声に助けられているだけでなく、そろそろ歌い方も自立していかなければ」と思っています。その点第9の指導陣は、学校現場でコーラスを指導し、コンクールに出場すれば必ず入賞させた実績を持つ阿部先生をはじめ、声の松原先生（7月28日の雨の夜の練習ではなぜかいつもより先生の声が一段と輝いておりましたよ）ドイツ語の福田先生 その他指導の先生方はすべて専門教育を経た素晴らしい人たちです。素晴らしい人に近くで気楽に接触出来る、ときにそのことを忘れ勝ちになることもあります。

それはとにかく、いま、1日練習に参加すれば必ず一つ二つの収穫があることに気付きます。

私にとって未知が既知口になり、それはちょうど小さな歓喜（フロイデ）にも似たようなものです。

遅まきながらこしし入ってきた若い人たちの後から第9に入った喜びを私も感じ始めているのかも知れません。12月10日の目標に向って暑さにも負けず皆さんと共に練習に励みたいと思います。

〈※若しかして伊藤さんは第9の現役最高齢では？ 編集子〉



MからPへ とらばーゆ

〈ソプラノ〉 神 祐美子

ファンの皆様、大変お待たせ致しました。毎度お騒がせ、ソプラノの神祐美子です。第9ニュースには2度目の登場になります。前は「高崎駅ビルモントレー」に勤めているから見かけたら声をかけて」と書いていたと思いますが、実は今年の5月にとらばーゆして、今高崎駅西口のプロミス（株）高崎支店で受付やら事務やらをしています。「あなたの街のどどりバンク」でお馴染みの大手の庶民金融です。入社出来たまでは良かったんですが、ご存じの通り安物脳ミソなので、もう3ヶ月にもなるというのに仕事がちっとも覚えられなくて、会社の人に迷惑ばかりかけている始末。一日働いてもした仕事より失敗の方が多様な気がします。もともとずうずうしいので平気で笑って勤めています。（会社の皆さんには悪いけど反省はしているんですよ!!）

高崎支店は私の他に6人。ゴマすりでもヨイショでもお世辞でもなく、みんなどの人も優しく楽しくて、私は6人全員好きです。会社の人が一人居らず好きになれるなんてこんな幸せな事って他にあるかしら?! お陰で会社に行くのが毎日楽しみです。（そうよ、たとえ失敗ばかりでも。）

そんなこんなで幸せな私は8月11日で21才。赤羽先生と同じ誕生日なんですヨ。（年齢はともなく……!?）〈※先週載ればバッチシだったんですが、原稿先着順に書いているので悪しからず。今日の暑気払いで悪酔いしてカラまないで下さい。編集子〉

プレゼントの受付は昨年同様 年中無休。髪につけるリボンをコレクションしているの。70cmカットで皆さんヨロシク。ところで第9は今年3年目。一生懸命頑張ろう!と燃えておりますのでヨロシクお願いします。

初心に戻って

〈アルト No.18〉 吉田 久仁子

「生徒に夏休みの宿題を出しているのだから、先生もしっかりノートを書いてきて下さいねー。」「はーい!」ということで、さっそく私も宿題をいただいて参りました。遅ればせながら皆さんこんにちは。私は今年で教員3年目、第9も3年目となりました。第9の方、1年目は何とか言葉を覚え暗譜で歌えるようになることで精一杯でした。2年目はもう大体歌えるぞという変な慣れと、クリスマス・キャロルがほとんど並行していたこともあって、ほとんど進歩もなく（むしろ後退ぎみ）終わってしまいました。今年度、また改めて楽譜を追ってみて、自分がかなりあちこちでごまかして歌っていることに気がつきました。（スマセン!）阿部先生が毎回毎回、口を酢っぱくして言われていることが、やっとわかってきた様な気がします。ただそれもまだ頭でわかっているだけで口が、体が言うことをききませんが……。まあ、あせらず、初心にもどって1つ1つ、しっかりやっていきたいと思っています。よろしくね。



歌のひろば





いよいよドイツへ 始動

ハイテルベルグ

ウィーンフィルとも共演の可能性？

先週の練習後、第1回運営委員会が開かれました。22名中、都合により2名の方が欠席しましたが、第9合唱団の今年から来年にかけての運営について熱心な意見の交換が行われました。特にその中心議題となったのは、1989年度に予定されている「高崎第9合唱団」によるドイツ公演についてでした。

「ドイツで第9を歌おう」と既に3年前から意志決定を行い、15周年記念事業に取り上げ、本来なら今年実施される計画でしたが、民間レベルでの接衝を繰り返して行く中で、福田朋英運営委員と現地との情報が実現可能の根拠めができたとして、来年実施の具体策を進めることになりました。

実施時期は来年の8月21日～8月31日位の間とし、夏休みの休暇がとりやすい時期に決定しました。場所はソーセージで有名なフランクフルトに程近いハイデルベルグで行い会場はハイデルベルグ城やシティホール、教会ホールなどが考えられています。

ハイデルベルグでの演奏会終了後は ベートーヴェンの生家のあるボンや オーストリアのウィーンにも行きたいと考えています。 また 高崎市長からの派遣メッセージがあれば、ウィーン放送局の番組に オンエアする可能性もあり、この場合 ウィンフィルハーモニーをバックに歌えるという情報も もたらされました。 しかし費用の方は旅行シーズンということもあり、一人 50 万円前後は必要とされます。

募集要項など細目についてはこれから決めることですが、規模は80名。(S25. A.25. T.15. B.15)。最短所要日数8日ということで諒承されました。なおこの決定を具体的に進める実行委員会の中心に赤羽洋子運営委員をお願いし、一般団員の中からも実行委員を委嘱して、これからの方針を検討してもらうことになりました。

ドイツ公演が実施されても 来年12月の演奏会は今まで通り行うこととし、指揮者は今年中にも決定して置き、合唱曲の取り組みが 年度当初からできるように早目に準備したい考えです。又この交渉は事務局に一任されましたが、編曲等の関係もあり、できれば 作曲・指揮が共に行えるアーティストが良いと意見が出されています。

何となくが 10 回以上に

＜アルト＞ 堀口 妙子

おかし
昔 新聞を読んでいたら、高崎第9合唱団の記事が
目に止まりました。

「ふーん ベートーヴェンの第9ねえ どんな曲なんだろう。来年歌ってみようかなあ」 そんなキッカケで 何となく始めた第9の合唱。それが何と10回以上歌うことになるうとは、本人が一番驚いています。この間第9だけでなく モーツァルト・レクイエム、ベートーヴェン・ミサソレムニス、ショスターコヴィッチ・森の歌等々 様々な合唱曲を経験しました。

そして今、音楽がとても好きになってしまいました。心の中の音楽を感じとる部分が目ざめたのかも知れません。それでも不思議なことに、第9の演奏会では一度も感動したことがありません。いつかは、いつかはたくさんの拍手の中で、私も胸がいっぱいになれるかもしれない。そんな日を夢見て、今年もオ9を歌い続けています。

感動は無防備の時 ふいに訪れる まるで〇〇のように

合不來 (合不来)

〈ソフ・ヲノ〉 小山 真紀

こんにちは。ソプラノの小山真紀です。「高崎に第9合唱団というのがあるんだよ」と先生に言われたのが今年の8月の中旬です。私はどうしても、ベートーヴェンの第9を歌いたい！と思ったので、早速、申し込み書もらい、9月1日に入団しました。

初めは、とても不安でした。今でもそうです。原語でちゃんと最後まで、歌えるか練習についていけるか……でも、もう、そう思っでは、いられません。ちゃんと、歌の練習をして、みなさんに追い付かなければなりません。

私は、音楽がとても大好きです。音楽がもしなかったら、私は生きてゆけないでしょう。音楽は私の友達です。または、それ以上かもしれません。この第9合唱団に入って音楽の世界にまた一歩足を踏み入れました。

※ 現在私は、富岡東高校の1年生です。部活はもちろん、“音楽部”。パートはメゾです。最近、のどが痛くてよく歌えません。だからとても困っています。あーん、私はもっと歌いたのに、

新人紹介演奏会

とき 1988.9.20(火) PM6:30
ところ 群馬音楽センターホール

整理券 一般 ¥500

高校生以下 ￥300

主催 高崎市民音楽連盟



いよいよ 後半戦

実勢にも積極的に参加を！

情熱が感動を呼び起す——

9月に入ってから童謡メドレーに取りかゝりましたが、オ9合唱は先週のレッスンで全曲を一通り終了し、今日の練習からはまた始めから細まかい仕上げの段階に入っていきます。特に初めてオ9を歌う方で途中入団された方は、前の頁は全然知らない部分もあるかと思いますが、頑張って休まないように心掛けて下さい。

またこれからの時期はわがオ9合唱団にとっては、毎年の事ながら大車輪で活動しなければならぬ時に突入します。それは、ただ一度の演奏会の成功を勝ち取るための準備というばかりでなく、私たちの半年間に亘る努力の結果が多くの聴衆にどれだけの感動をもたらすことが出来るか——ということとも深いつながりがあるからです。人々により強い感動を手えるためには、自分自身がそれ以上の情熱を傾けなければなりません。一つの目的に対して、ひたすら情熱を傾け続けることが「ベートーヴェンの「歓喜」として結実されたのではないでしようか。

「第9を歌う」ということは 高崎第9合唱団の一つの目的ではありますが、最も大切な事は、この合唱を、この演奏会をどのように創り上げて行くか—というプロセスの問題です。そしてこのプロセスの中にこそ、人と人との出会いがあり、心と心の触れ合いが、私たちの人生をより豊かに彩ってくれる要素を持っているのです。それらの要素をどれだけ自分のものと出来るか—各人の考え方によって様々でしょうが、第9の合唱運動を通じて、一つでも多くの要素を取り込んで貰いたいのが私たちの願いです。

組織とはこうした個々の考えや行動を基により社会的な発展に向ってその力を集積します。多年夢見て来た「ドイツで歌う第9」も現実のものとなりました。毎年の演奏会は勿論のこと、「ドイツで……」のビッグイベントを成功させるのも、もともととは一人一人の支えが組み合わされたものに他なりません。

演奏会までの実務は、ポスター貼りやチラシの配布、チケット売り、当日の運営など決まりきったような事柄ですが多くの人手を必要とします。団員の皆さんが、歌うだけでなく、これらの実務にも積極的に協力し、参加されるよう期待して止みません。



喜びも悲しみも……

＜アルト＞ 井上 あやめ

オ9……それも高崎オ9なのである。1975年(昭和50年)オ2回の募集を新聞で見て応募したのが、私とオ9との出会いである。それからの私の人生は、オ9と共に年を重ねてまた新たな気がする。

音楽センターのオ1会議室での毎週水曜日(あの当時は水曜日でした)の練習。廻りをみても知っている人は一人も居ない頃。団長でいらっしゃる有藤民先生のお名前を存じ上げていただけなのである。藤女の先生としていらした時、私の姉がよく「民先生」とそのおぼろしい御声に感嘆していた事を覚えている位で。初心者達の誰でもが持つ悩みや苦しみは云うまでもない。誰だって最初から聖賢者という人は居ない筈だから英語も満足に読めないのにドイツ語なんて……と劣等感の固まりになって魔の水曜日に通ったのだ。それでも月日が経つにつれて魅力の様々なものが出て来たのだ。何といっても民先生の透明感のある御声と、メリハリの効いた阿部先生の指揮振り……。当時オ9の精神など解ったものではなかったが。「おしゃべりをしたい人は外へ出て下さい」南小学校の体育館での練習は忘れる事が出来ない。今の時代にあの様な厳しさに余りめぐり合わない。戦中を通して来た私にはとても懐しかった。

運営委員の渡辺さんから、このノートを渡された時、来し方の才9とのかわりを振り返り、思いが
あふれて考えがまとまらなかった。家へ帰ってから、51年に放映されたNHKの「奥村今日は」
という番組のテープをかけてみた。懐かしい面々が写っている。民先生も阿部先生もお若くてい
っしやる。渡辺さんは奥村と6年生の娘さんと三人での出演であった。群響のメンバーの方もな
んな出演された練習風景である。この場面では悲しい思い出もある。私の小学生時代からの親友若
月幸ちゃんの事である。彼女は一年生に入った私の誘いに快よく応じてくれて、この年同じアルトに
入団したのだ。そして小林先生の御自宅で特別レッスンを受けていた。その模様がよく写って
いる。そして「才9カレー」の話等、インタビューに答えたりして、彼女もあの当時は元気だっ
たのに……あれから5、6回出演して遂に病魔に襲われてしまった。58年3月、年輩いた母
上を残してあの世へ旅立ってしまったのだ。こうして才9は私にさまざまな悲しみや喜びを
経験させてくれた。

当時川向うの高校へ通っていた息子は、小林紀子先生の御主人に英語を教わっていた青い少年だった。楽譜の最後の“Got-ter-fun-ken”の所で何回も私が練習していると「ゲッテルホンケン群馬県」といつて笑わせるのだ。13年経った今でも、この所では思わず吹き出してしまう。その息子も今は真剣に「花嫁募集中」である。先日、武蔵野音大を出た娘さんが紹介されたが、この話に真先に飛び付いたのが私であった。一諸にヤウが歌える— そんな夢が「親の好みで俺の嫁さんを決められては困る」という息子の一言で赤い糸は結ばれまいで終わった。そのうちにきっと「キトク」な方が現われて…と私は又夢を追う。兎に角、渡辺さんもあのインタビューに答えていらしたけれど孫の代まで歌っていきたい。熱心な先生方とまわりのメンバーの暖かさに支えられて一生歌っていききたい。魅力ある高崎ヤウに栄光を!!

素晴しき第九目指して

本場の発音習得を

昨年(2017)の11月に発行された 武川寛海 著「第九のすべて」の巻末に、「第九を歌う人のために」と題して 著者と合唱指導で名高い辻正行氏との対談が載っている。その中の さわりを ちょっと……。

■武川 アマチュアに「第九」を教えることは大変でしょう。■ 辻 それは言語ではいい表わせない位むづかしいですね。まず言葉の点からいえば、だいたいどこでもドイツ語でやりますから、覚えることが大変です。仮名ふりということもやりました。ドイツ語にウムラウトがありますから、例えば U のウムラウトの場合は、^ウU の中にイ、^エE と書くというような仮名ふりをしたりします。なるべくドイツ語に近い発音をして欲しいと思いますから、いろいろな工夫が必要なわけです。巻き方も表現するのがむづかしくて、平かなで書いた「る」は巻き舌で、片かなで書いた「ル」は巻かない「ブ」は唇を噛まない、「ぶ」は唇を噛んでというようなことをやったこともありました。

■武川 漢字であてはめたのが新聞に出たことがありましたね。あれはなかなかうまいやり方ですね、感心しましたよ。■辻 あれには私も驚きました。うまくあてはめるものだと思って、でもあれで失敗したこともあったんですよ。“鯖^{サバ}うでる”という言葉があったので何かと思ってきくと、“^{ブリ}鰯^{イサナ}うでる”の漢字の間違いだったわけです。“^{ブリ}鰯^{イサナ}うでる”は“ブルーデル”という単語にあてはめたものですがけれども。(笑)■武川 それは傑作だ。■辻 そういうエピソードなんかもあって、むづかしいですね、言語や発音を覚えてもらうというのは。■武川 坊さんのお経のようなものですね。(笑)■辻 そういういい加減な発音の覚え方でうたっても、ちゃんと「第九」に聴こえてくるというのは、やはり大したものだと思います。■武川 それがベートーヴェンのベートーヴェンたるところでしょ。〈以下略〉

図みに Deine Zauber binden wieder, was die Mode streng geteilt
台 癡 津合ベル ビン然ん 微出る バス出い 諧で 酒取れん 下駄いると

■ 面白い本です。是非ご一読を！ 「第九のすべて」 武川寛海著 (株)芸術現代社 刊 ￥1,400

DEZSÖ RÁNKI
Piano Directa1

デジュ

10・7 (金)
PM 7:00
群馬音楽センター

A ¥3,000

B ¥ 2,000

c ¥ 1,500

—プログラム—

モーツァルト：ピアノ・ソナタ第8番イ短調K.310

ブルームス：バラード集(全4曲)作品10

リスト：ピアノ・ソナタ 口短調

W. A. Mozart: Piano Sonata No.8 in A Minor K.310

J. Brahms: Ballads Op.10

F. Liszt: Piano Sonata in B Minor

今を大切に

＜アルト＞ 深町 末子

8月25日に初めてオラの練習に参りました。すでに発声練習が始まっています。受付の所で上野さんが、そして阿部先生の姿も見えました。何年か前に2年続けて練習した時の事が懐しく甦って参りました。

取年もオ9を聞きに行き素晴らしい感動を味わいました。来年はもう一度皆さんと歌いたいと思いました。早く入団して練習をと思いながら、その内、その内と思っている間に7月後半頃から体調をくずし、今に至った次オです。新まいなのに遅くなってごめんなさい。反省しております。みんな詩を思い出しました。

「そのうち、」 相田みつき

そのうち お金がたまったら
 そのうち 家でも建てたら
 そのうち 子供から手が離れたら
 そのうち 仕事が落ち着いたら
 そのうち 時間のゆとりができたなら
 そのうち……
 そのうち……
 そのうち……と
 できない理由を
 くりかえしているうちに
 結局は何もやらなかった。
 空しい人生の幕がおりて
 頭の上に 淋しい墓標が立つ
 そのうち そのうち 日が暮れる
 いまきた この道 へえれない

■ Just Know 今しかないんだという
気持で一生懸命頑張ります。御指
導下さる先生方、先輩の方々 皆さんよろ
しくお願い致します。



他に机が沈まず。

〈ソプラノ〉 No.6 清水 盛子

私の大好きな第9合唱団の皆様、元氣にお過ごし
ですか。月日のたつのは早いもので、私が入団してもう
2年目になりました。去年は無我夢中で練習に参加し、
周りの人を眺める余裕もなく過ぎ去りました。今年は
仕事の都合で8月までに4回しか出席してない有様で
す。去年同様また必死に頑張らないと落ちこぼれ
てしまうと感じています。沢山知り合いを作り仲良
くしたいのですが、これではなかなか周りの人に目が
ゆきません。

今日から心を入れかえ、真面目に毎週木曜日に車を走らせ練習場に通います！ そうして今年は去年以上に良い声で音楽センターのステージで歌えるようになりたいと思っています。どうぞヨロシク！！

——ひとりと—— By せい子 ——

毎日の暮らしの中で決して出逢うはずではなかったと思われる“あなたとあなた”“あなたと私”……。そ

れが今、第九という一本の糸でつながっている。この糸は、たぐりよせれば15年という時間を経て私の知らない人ともつながってしまう。高崎才助合唱団の歩みのほんのすみっこに私はいる。まだまだ未熟者。でも歌が好きなのはみんなと同じ。一緒に歌い、ステージを踏む。知り合えたことを大切にしたいな！

目標を見据えて

感動の演奏会の創造を!

ソウルオリンピックも漸く終りを告げました。東京に次ぐアジアでは二番目の開催ということ、南北対立の中の韓国とあって、テロ防止の警戒体勢など様々な話題に満ちた大会でもありました。あれもこれも終ってみれば「杞憂に過ぎなかったこと」になりますか、それもこれも周倒な準備あつてのことだと思ひます。

それにしても「世界の中の日本」と自他共に許しているニッポン勢の低調さには何か歯痒ゆさを感じられた方が多かったのではないでしようか。何故なのか——私たちはこのことについて真剣に考えて見る必要があると思います。スポーツは本来ハングリーなものだと言われていますが、戦後の日本と違って、聖清大国と云われる今日の日本では生活的に不自由を強いられることは殆んどありません。衣食足りて目標を失ってしまったというのが本當のところなのではないでしょうか。

競技は勝敗を伴いますが、音楽とか文化は人間の生活や精神によって形成されるものであり、本質的には文化的侵襲などはありません。しかし競技や音楽文化にしても、それぞれの分野における最高のものを希求するのは人間として至極当然のことと云えましょう。要はこの当然のことに、どれだけ真剣に取り組む、どれだけ力を注ぐことが出来るかという精神の肉題に帰着します。

ベートーヴェンの第9を歌うということ自体、非常に高度な目標を設定しているわけであり、遊び心では練習出来る筈ありません。来年のドイツ公演の準備も着々と進められつつあります。私たちの心を一つにして「歯痒さや物足りなさ」のない立派な演奏会を創り上げましょう。

HERMANN
PREY

ヘルマン・プライ 冬の旅

SCHUBERT: WINTERREISE

11/16 (水)
PM 6:30
群馬音楽センター

S ¥5,000 A ¥4,000 B ¥3,000 学 ¥2,000

チケットは テノール 若井が取扱っています。



第9乙女の会

＜アルト＞ 田口幸恵

皆さん初めまして。高崎第9合唱団に入団させていただいて早くも1か月が経とうとしています。皆さんの顔も名前も一致しませんが、毎週一緒に楽しく練習させていただいています。

今回初めてということで簡単に自己紹介します。現住所は群馬ですが、勤めは東京です。趣味は音楽鑑賞(好きな音楽はクラシックと映画音楽)、テニス(下手ですが硬式軟式両方やります。実は現在硬式テニスはコートについて習っているところなのです。)、洋画(テレビで見る他に友人に誘われれば一緒に見に行く程度ですが……)です。血液型はO型、好きなものは、手作リクッキーとケーキ、果物。嫌いなものは酒、たばこ(今まで吸ったことがありません)油肉、らっきょう、性格は内気でドジです。動物が大好きで現在家に籠り込んできた野うさぎを飼っています。こんな私ですがよろしくお願いしませう。

ところで、ここで一つ提案があるのですが……。先日、昨年この合唱団に入った方から聞いたのですが、未だに他のパートの同年代の方と話もしたことがないとのこと。18~30歳位までの女性同志で「第9乙女の会」を作りませんか？ 週一回の木曜日の練習日は忙しくてなかなかお話

童話… 暗くはないですか？

〈アルト〉 塩原 秀子

9月1日付で入団しました、塩原秀子です。

合唱は高女で3年宙部活で仲間と頑張りました。しかし、6年宙のブランクは大きい事と、発声練習なしのパート練習はきつかったですね。実は7月20日付で仕事を辞めて、1月余り、丸沼のペンションでバイトをしていたので高崎の暑さと同時に お手上げの状態の初日でした。

大学でドイツ語も少しはかじったのですが、すべてお返ししてきてしまった。これから頑張らないと、ただの雑音発声器になってしまいそうです。

入った早々、生意気ですが、この童謡は暗すぎないですか。期待してきたのに……という気持ちにさせられました。こう思っている人、少ないと思います。

をする機会ありません。月に一回位
でも一緒にお茶でも飲んで交流を
深めることができれば練習も、もっと楽
くなると思うのですが……いなかでしょうか。

美術の秋 群輝展 (白輝会 群馬支部)

10月13日(木)～18日(火)
(但し最終日は午後3時閉場)

会場 スズラン高崎店 7階催場



この展覧会には ア
ルトの反町隆子さん
も出品しています。尚
今年の第9ポスターのデ
ザインは反町さんです。
是非矢張りご覧下さい。



何でも自分たちで

手創りの苦勞から真の歓びを!

そろそろ演奏会準備も

練習回数も残り10回を切り、最後の仕上げの段階に入ってきました。そして歌の練習ばかりでなく、演奏会の準備も並行して進めて行かなくてはなりません。まさに自他共にもっとも多忙な時期に突入します。ポスターやチラシ、チケットも間もなく印刷されてきます。さうまでもなく、ポスター貼りや、チラシの配布、チケットの売り捌き等、すべて団員の手によって行われます。特にチケット売りは、早目に友人などと予約して置かないと、大変です。況して団員同志共通の友人などの場合は、先手必勝、先に声をかけて置くことが、早くチケットを消化できるコツとなります。早くチケットを消化できるコツとなります。

毎年9月は歌いたい、チケットの割当てがあるのが嫌だ、と言う人もいます。しかし演奏会の成功なくして、合唱団の存在はあり得ません。文化運動に莫大な資金を援助するスポンサーは極く限られますし、地方の小さな音楽団体など一顧だにされないのが実状です。またそれだからこそ私たちの「手創り演奏会」が大きな意義を持ってくるわけです。

苦しみと喜びは常に表裏一体のものです。苦勞なしで手に入れたものには感動はありません。たとえどんなものでも、自分の力で、苦勞して得たものは、又とない宝物のように感じることでしょう。第9の感動も同様です。悩み苦しみ、そしてこれを克服した時、はじめて真の喜びを感じる事が出来るでしょう。ベートーヴェンが感じたと同じ喜びを!

交響詩曲ぐんまと群響の夕べ

第1部 服部良一名曲アルバム 指揮/赤羽洋子 // 合唱/安中草笛合唱団

第2部 交響組詩「伊勢物語」 合唱/二期会、安中草笛合唱団

第3部 交響詩曲「ぐんま」 S 1500円、A 800円 チケットは

とき: '88.10.30(日) PM.6:30 / ところ: 群馬県民会館大ホール Sop 赤羽まで

お年寄と大切にね

〈アルト〉 桜井美鈴

今日は第九の練習日。

なのに私は今、自分の部屋でこのノートを書いています。

何故、練習にも出ないで部屋に閉じこもっているかといいますと、

今、私は喪中だからです。

実は、先日、私のおばあちゃんが亡くなりました。

79才でした。

特におばあちゃんだったというわけでもない私ですが、

(人の死とは悲しいものですネ…)

写真を見るたびに元気だった頃のおばあちゃんを

想い出し、涙があふれそうになるのを必死でこらえています。

来週の日、15日は敬老の日。

身近にお年寄のいる方は、どうか少しでも長生き

出来るように、大事にしてあげて下さいね。

〈9月8日記〉 from: Misuzu

はじめまして!! 今日(9月15日 敬老の日)入団したばかりの私です。いきなり自己紹介を……ということで、心の準備もでき

ておらず、失礼致しました。まあまあ一度は「第9」を歌ってみたいと思っていましたが、なかなか行動に移すところまでいかず、3年が過ぎてしまいました。頭の中では、ああしたい、こうしたい、と考えをめぐらしてみても、やはり、行動をおこさないことには何も始まらないのだ、と思いきや、やっと足を運んだ私です。

とても熱心なパート練習、声を合わせることの楽しさを久しぶりに味わいました。音楽を教える立場にいなから、毎日のあわただしい生活に流されがちな今日この頃、この「第9」に参加させていただいたことで、初心にもどり新しい集団のなかから、たくさんの方を学べたらと思っています。よろしくお願いします。以下自己PRをちょっと――。

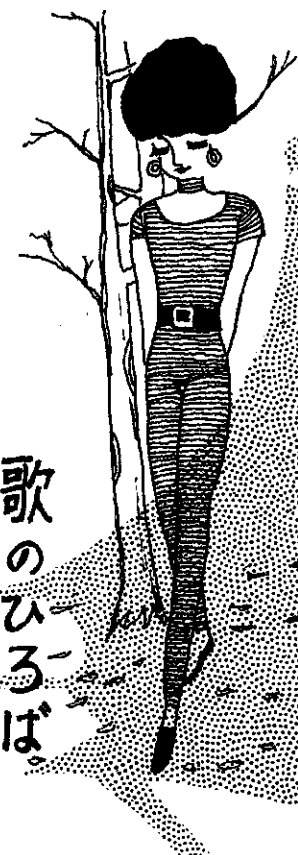
名前 戸塚育子

生年月日 3?年9月26日 てんびん座

住所 甘楽郡下仁田町(現在、市内に下宿中)

趣味 Tennis・SKI(とにかくスポーツ大好き)ちなみに編物も……

歌のひろば



新しい集りの中から学ぶ

〈アルト〉 戸塚育子

本日よりチケット配布、役員20枚 団員12枚

楽しい音楽を拡げる輪に

この演奏会がドイツへのステップ。

この時期は、冗談に「恐怖のチケット売り」と呼ばれます。自分の割当が既に胸算用出来る方はとにかく、これから「何処に売ろう?」などと考えている人には、胸がドキドキするようなショックを感じるかも知れません。しかし私達が「第9演奏会を閉く」ためには多額の費用が必要です。この経費を賄うためチケットを売らなければなりません。誰かが毎年500万円程 ポンと寄附してくれば「無料」でも良いのですが、世の中はそんな夢のような話に滅多にあるものではありません。そんな「たなぼた」を、もし当てにした「第9」演奏会を開いたら、それこそ泉下のベートーヴェンが怒りの雷(いかづち)を落とすことでしょう。

第9を歌い終った時誰もが感じる、あの心の隅々まで満ち溢れる「感動」は、「成すことを成した」充足感で、恐らく歌がうまくいったとか、どうとかという感動ではないと思います。それは、練習や、団活動や、沢山のチケットを売り、沢山の音楽の輪が広がって行く、眼のあたりの実感が、私たちの心に「真の歡び」を体現させてくれることに他ならないのではないのでしょうか。

チケットの値段も5年も据え置きです。団員の責任枚数も昨年同様、1人12枚。運営委員などは1人20枚の割り当てです。この目標を達成しても1640枚程度で音楽センターの2,000席には及びません。1人でも多くの聴衆を確保し、素晴らしい第9を創造する努力を払いながら、この力が来年のドイツ公演へ大なるステップとなるようがんばりましょう。

高崎フラウエンコール 第7回定期演奏会

指揮 阿部 延
ピアノ 大河原 純子
清田 和泉

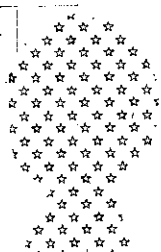
⁹88.11.19 (±)

高崎市文化会館

PM. 6:30 開演

¥ 1,000.

ちけっとは阿部延まで



これを機に沢山勉強

＜アルト＞ 反町 隆子



歌のひろは

「オラのポスターを、デザインしてくれないか」と渡辺さんに頼まれた。その時、私は一瞬、頭がカッツとし胸が熱くなるのを覚えた。なぜか？ それは油絵をかじっているだけのこんな私に、“頼んでくれた”と言う、その事で胸が、ドキドキしたのでした。そしてその後、すぐに私の頭に一寸、自分なりの、ひろめきのデザインがもう浮んできた。(一寸、すうすうしいかな)。次に去年の山本直純氏の写真入りのポスターが頭に浮んだのだった。そのうち、だんだん、燃えてゆく自分の気持ちに気が付いた。でも自信もなかったし、気とひろめきだけではポスターは出来ないし、私には技術がない。どうしようと思った。

「今年一杯勉強して来年からやらせてもらおう」となった。でもその気迫でやれば良いと勧められて、出来る範囲でやらせてもらう事にしたのです。勿論田中清巳さんの力も充分におかりしての事でした。

実は私も、前々からオ9のポスターには関心を持って居りました。フロでない私ですが、取しながら首を入れさせて戴きました。これを機会に、これから、沢山勉強させて戴きたいと思つて居ります。〈高崎市八千代町 4-16-3 反町隆子 Tel.27-3865 しらゆり美容院〉
P.S 八千代橋そばの東附公民館の隣りの美容院です。オ9合唱団の団員証をお持ち下さればすべて1割引で、ご奉仕させていただきますのでよろしくお願い致します。

今年は正式に...

〈チーニル〉 清田伸司

今年は正式に...

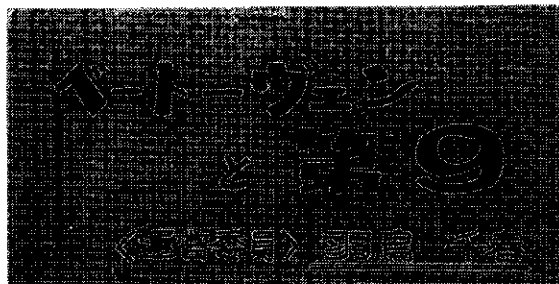
〈テノール〉 清田 伸司

自分の人生の中に音楽がある……それだけで私は幸せです。いつからこんなに音楽を好きになったのか、もう遠い昔のようです。ただ、音楽とは、つき合えばつき合う程に好きになっていくようです。その日、その時の気分で、管弦楽を聴いたり、オペラを聴いたり、ピアノ曲を聴いたり、それだけで心が落ち着いてくるのです。

この第9合唱団には去年エキストラとして参加させて頂き、今年正式入団しました。仕事の都合でいつも遅れて来るのを申し訳なく思っています。また残念なことに、1日の仕事が終わると、もう声帯が疲れ切ってしまっていて、大好きな歌がほとんど歌えません。それでも少しでも音楽を表現することの喜びを感じたいと思い、参加している次第です。

ベートーヴェンが苦悩の生涯の末、最後に書き上げたこの交響曲。おそらく壮大なスケールで歓喜する様子を描きたかったのに相違ないと思いますが、このちっぽけな私にどれだけ表現できるでしょう？

どれだけ出来るかはわかりませんが、皆さんと一つになって、少しでもベートーヴェンに近づけるように精一杯声を響かせたいと思います。今後とも、よろしくお願い申し上げます。〈ピアリスト 清田和泉さんのご主人です。文唱婦随、それとも婦唱夫随？(編)〉

[illegible]

ボンにいた少年時代に、ドイツの詩人シラーの詩「歓喜に寄す」を読んで、ベートーヴェンの心は高鳴りました。そして年とともにその感銘は、ベートーヴェンの心の中に深く刻まれ、何度かこの詩をもち出しては作曲しかけていました。23才、41才、47才の時と、3度に

わかってベートーヴェンのスケッチ帳にこの詩の断片が見られるということです。その後長い歳月をかけて、ようやく「第9交響曲」が完成しました。

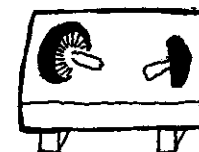
「第9」の初演は、1824年5月7日、ウィーンのケルントナー・ア劇場で行われました。事前の会場送りが難行したこともあって、リハーサルのための時間があまりなく、また当時の通例として盛り沢山のプログラムが組まれ、しかも一説には合唱団の構成も必ずしも万全ではなかったと言われています。とすると、演奏会はそれほど上出来ではなかったのかもしれません。しかし、すでに聴覚を失っていたベートーヴェンは、それを確かめることもできなかったのです。それでも会場には満員の聴衆が詰めかけ、「第9」の演奏が終ると、嵐のような拍手がわきあがりました。舞台に立って客席に背を向けているベートーヴェンにはそれがわかりません。その時、アルト歌手のカロリーネ・ウンガーが、彼の肩に手をやって客席の方に向き直らせたというのは有名なエピソードです。ベートーヴェンは「第9」という、この大作の演奏も、そしてそれに対する人々の盛大な拍手も、聴いたのではなく見たのでした。

「すぐれた人間の大きな特色は不幸で苦しい時は、じっとこらえることである」これはベートーヴェンの言葉です。ベートーヴェンは少年時代から、波瀾と苦悩に満ちた生涯をおくる運命をになってきました。「オ9」の終楽章は、聞きなれない和音で始まります。それはあたかも人間が乗り越えなければならぬ障害を暗示するかのようです。しかしこの響きは次第にバリトンの力強い叙唱によってかき消され、やがてすべての人々が歓喜のうちに感きあまる大合唱になって終わります。「第9」はまさにベートーヴェン自身の劇的な生涯そのもののような気がします。

このような、ベートーヴェンの総てが注ぎこまれている「第9」を歌うということは並大抵のことではありません。あの長い曲をドイツ語で歌うのですから相当な努力が必要です。特に初めての方は大変でしょう。しかし、苦しみの後には必ず喜びがくる筈です。演奏後、素晴らしい感動を味わえるように、また「第9初演」の時のように、会場に嵐のような拍手が湧きとるよう、皆で力を合わせてがんばっていきましょう。

ほんのちなみに... 3.18

＜ソフ・ラノ＞ 赤羽 その子



今年から入団しました、ソプラノの赤羽その子です。毎週木曜
日、母といっしょにかよってます。

現在高崎女子高校1年(15才)で音楽部に所属しています。先日学校で“スポーツの日”が行われて、自まん(?)の白い肌が焼けちゃって悲しい今日、このごろです。どーとつですが今、おせをひいていて声がでなくてとてもつらいんです。季節の変わり目です。みなさんもおせには十分気をつけて下さいね。あー。ちなみにたん生日は3/18です。…ほんのちなみにですけど。どうぞこれからよろしくお願ひします。〈10月6日木〉

歌のうちは

次回の **11/3** は **指揮者**
練習日 **レッスン** です

第九と私

＜アルト＞ 西有悦子

光陰矢の如し…… 第九を歌って12年、今年はどうしようかと思いながら、やはり時期になると自然と練習場の方に向いてしまいます。 そうだ！ 今年も何とかがんばって歌うんだ…と自分に言いきかせて… 少々出遅れてしまいましたが……。 そして1年ぶりに再会した人、新入団員の顔々…… なつかしさでいっぱいです。

最初の頃は楽譜を痢いても、どこまで歌っているのかまるっきりわからず、一体どうなるのかな……と思いながら、そんな気持ちで、不安と何かを期待しつつ、はずかしさでいっぱいでした。今となっては遠い思い出になりました。

今では歌に余祐が出て来て 第九に対してもいろいろな面から考えるようになり、歌うことももちろんですが、もっと何かを求めていきたいな……とも思います。それは何があるか、よくわかりませんが……。

秋は音楽会のシーズンですね……つい先日も ロジエーワグナーの美しいハーモニーを聞いて参りました。今年も12月の演奏会をめざして、よりいっそうの充実した第九を歌って行きたいと思います。今年こそは！ 来年も！！ そして………!!!

終了後のパーティ、クリスマス等、たのしいことがいっぱいありますね。さあはりきっていきましょう。

松原真介テノール独唱会
イタリア歌曲とカンツォーネの夕べ

1988年11月26日(日)
PM. 6:30開演
富岡市中央公民館
会費券 ¥1500. 事務局へ

BEETHOVEN
SYMPHONY

童謡につよくなろう 其の一

心にじんわりしみこむ詩

〈指導・ソプラノ〉 赤羽洋子

今年の演奏会で童謡メドレーを歌うことになりましたが、「童謡って、なんだろうか」「どんな人が、いつ頃作曲したのだろうか」などという、日頃、無関心でいることについて、ちょっと考えてみようと思います。

童謡は子供の歌だと簡単に結論は出せません。なぜなら、「唱歌」「わらべ歌」「子守歌」などと、色々あります。それらの区別は、どうなのだろうかという疑問が湧きます。

「わらべ歌」と「子守歌」は自然に生活の中から生まれたもので、作爲的なものではありません。「唱歌」と「童謡」はどうなのでしょう。まず「唱歌」は明治12年に学校教育の中に音楽を取り入れようとの目的で、ただ西洋音楽を直輸入するだけでなく日本の音楽との折衷によって新しい音楽として作りあげられたものです。「童謡」の方は大正7年創刊の雑誌「赤い鳥」で北原白秋によって始められたといわれています。学校唱歌は偽善的で子供らしさがないと、白秋が憂い、人間の感覚の原点につながる歌を子供達に手えたいと考えて発表したのが童謡のルーツということになるのでしょうか。学校唱歌をより文芸、音楽的に高めたものが、童謡ということになってきました。

野口雨情、西条八十、北原白秋の三人が、童謡の元祖と云われています。今回の童謡メドレーの中でも「赤い靴」「七つの子」「ジャボン玉」「十五夜お月さん」「雨降りお月さん」の五曲が、雨情の作品です。その他にも「青い眼の人形」など、日本で一番よく歌われている童謡の多くが彼の作品です。白秋は「この道」「砂山」「からたちの花」「ペチカ」などの、さびしさと重みがあり歌っていると心にじんわりとしみこんでくるような詩を書きました。メドレーの中の「雨降り」「雨」が白秋の詩です。「かなりや」「肩たたき」は八十の作品です。それらの作品が中山晋平や本居長世といった作曲者自身の全国的な演奏旅行を通じて徐々に普及し流行していったようです。

次に作曲の面では「赤い靴—大正10年」「七つの子—大正10年」「十五夜お月さん—大正10年」この3曲が本居長世の作曲ですが、この人は、江戸時代の国学者 本居宣長の直系の子孫にあたる人です。国学者の家系が突然に作曲家になるのもなにか詩とのつながりを思わせて楽しいものがあります。「雨降りお月さん」「ジャボン玉」「雨ふり」はそれぞれ大正10年頃の中山晋平の作曲です。
(次号につづく)



歌のひろば

ふれ合い求め雨び……

〈ソプラノ〉 田村 直美

私が第9と出会ったのは今から6年前、私がまだ学生の頃でした。先輩に誘われ、「年末に大合唱される第9か！ よ～し歌ってみよう」と思い入団したのがきっかけです。

上手、下手は別として私は一生懸命唄いました。そして最初の年は緊張のままステージが終了し、2年目は、自分達の歌に酔いし

れ、客席からの拍手の音がいつまでもいつまでも、私の耳に残っていたのを覚えています。

就取し、高崎からも、第9からも遠ざかっていたのですが、今年の春、前橋に転勤となり高崎にも近くなったので、再び唄わせていただくことになりました。

現在私は前橋で一人暮らしをしています。 ■あの感動を、もう一度味わうため。

■一人暮らしの寂しさをいやすため、■大声を出して唄い、ストレスを解消するため、■多くの人のふれ合いを求めて……etc. 再び第9合唱団に入団したのですが、仕事の都合で、なかなか練習に行けなくて困っています。

『継続は力なり』と云いますが、本当にその通りですね。本番まであと1ヶ月、私も一生懸命練習して、頑張って唄いたいと思いますので、みなさんよろしくお願いします。そして12月10日の夜にはすばらしい感動を共に味わいましょう！

お知らせ

本日の予定だった指揮者

レッスンは 11月10日 になりました。
都合により

その次の指揮レッスンは
12月8日の予定です。

弦楽アンサンブルの頂点！最高の演奏を得て確固たる地位を築くベルリンの名手たち。

ベルリン弦楽合奏団

1988年 11月25日(金) 7時 群馬音楽センター

A ¥5,000 B ¥4,000 C ¥3,000 D ¥1,000

(友の会 A ¥4,700 B ¥3,700 C ¥2,700)

テノール 若井まで
お申込下さい。

主催：財団法人 高崎市文化事業団

思い起せば遠い日のこと……そのダイナミックな指揮から生まれる繊細な音楽と、繊細なお心で弾くピアノ。特に歌の伴奏ピアノの底知れぬ美しさにその大切さを知り、魅せられ、心ゆくまで酔い惚れたのは……そして山田先生の大ファンとなってしまったのは。

音楽の好きな私は、学校を休んで父や兄と東京の演奏会へ行ったりしましたので、生の演奏会での何とも言えない感動はすいぶん経験していたのです。山田先生の音楽をきくようになって、生演奏でしか味わえない音楽のすばらしさ、それに、何よりも音楽をきく喜びを教えられるように思います。

先生の、瞬間、瞬間を大切に、心をこめて燃焼させるような緊張感に満ちた演奏をきいてみると、本当にその音楽に引きこまれてしまうのです。それは大きなよろこびであったり、ある時は思わず息をひそめてしまうような、せつなさを感じたり、そして私は、辛く悲しい時、心が荒んだ時などには、その音楽に、どれ程勇気づけられ、救われたことでしょう。あの不思議な力は、一体何なのでしょう。

先生は「ぼくの音楽は、只、ぼくが ぼくの音楽をやっているという丈」とおっしゃいます。では、あの棒が……時々演奏中に倦んで行ってしまうあの棒が魔法の棒なのでしょうか。いいえ、それは「磨きぬかれた感性に加え、春風のような温い人柄」と言われる そのものなのかも知れません。

本当に、指揮台での山田先生はとてとても大きいのです。

今年も、何度か、先生の演奏会に行くことができました。今年の合唱曲についてのお願いなどで、渡辺さんからの、又、合唱団からのお使いとして何回か楽屋にお訪ねさせて頂きましたが、あの遠い日と同じように 若々しくエネルギーな指揮での演奏の後にも お疲れの御様子も見せず、いつも おやさしく迎えて下さり、色々とお相談にのって頂きましたのは

幸いでした。

今夜はそんなすばらしい山田先生のレッスンです。第九の神髄。詩を大切になさる先生の、格調高く温かな童謡、きびしさの中にも楽しい雰囲気レッスンとなることでしょう。

最後に、数多い山田先生のファンの一入として、これから
豊かな情感みなぎらせる美しい音楽を、たくさん演奏して
敬しいと願います。では皆さん、大きな拍手でお迎え下さい。



山田先生
の都合により
本日の指揮者
レッスンは中止
生よりのコメント
崎第9は1回の録
で充分の合唱団であ

童謡につよくなろう 其の二

日本人好みのヨナ抜き歌

〈指導・ソプラノ〉 赤羽 洋子

日平は哀調を帯びた曲が多いようです。「カチューシャ」歌で一世を風靡し「波浮の港」「出船の港」が有名ですが、「証城寺の狸ばやし」のように日本の俗曲をうまく歌いこむ旋律を生かした作曲家としても知られています。「雨ふりお月さん」はいわゆる「ヨナ抜き唱歌」ですが、これはドレミソラドという音階でできていて、ファとシが入っていないということです。明治時代に西洋音楽を学び始めた日本人は「ドレミファソラシド」「ヒフミヨイムナヒ」と歌ったのですが、ファ(ヨ)とシ(ナ)の音が、どうしてもとれないので、ファとシを入れない歌が好まれるようになった訳です。(※ヒフミヨイムナヒとは一、二、三、四、五、六、七、一、のこと。 編)

そこで外国の歌の中でもスコットランド民謡はファとシがほとんど入っていないので、日本人に向いているのではないかと、「螢の光」や「故郷の空」が作詞され当時の人々にすんなりと受け入れられ歌われていき、まるで日本に昔からあった歌のように、今も私達の心の中にしっかりとあります。今回のメドレーの中では「雨降りお月さん」「雨ふり」「金魚の昼寝」が『ヨナ抜き』になっています。そんな事も考えながら歌ってみるのも楽しいと思いませんか。

「雨」大正7年、「金魚の昼寝」「お山のお猿」の3曲は弘田竜太郎の作曲です。彼の作品で有名なのは「叱られて」「靴が鳴る」等があります。明治45年には「昼」を作曲しており、童謡運動の起る大分前から作曲を始めていたようです。「月の砂漠」大正12年」は佐々木すぐるの作品ですが、他にも「お山の杉の子」「赤ちゃんのお耳」などがヒットしました。これらの童謡は、70年余り経った現在でも少しも古さなどは感じさせずに、まるで今できた歌のように子供や大人の心にしみこんで歌い続けられています。

童謡にも、それぞれの時代の流行、世相を反映したものが作られ歌われてきました。私が育った時代は、戦後の童謡少女歌手の全盛時代でした。「里の秋」や「みかんの花咲く丘」等を盗んに聞き、歌ったものです。もう少し若い人は「犬のおまわりさん」「サッチヤン」を歌い大きくなったことでしょう。私の子供は「およげタイヤキくん」「山口さんちのツトムくん」「ウルトラマン」等を得意そうに歌っていました。

時代によって子供達の口ずさむ歌は変わっていても、私達の心の奥にいつまでもなつかしい童謡を大切に歌い続けていきたいものです。もう一度メドレーの楽譜とにらめっこしてそろそろ暗譜をしてみたいかな？

第9テレホンカード ¥1,000

オ9コレクションに… お年玉用に…
軽る〜い 贈り物に オ9の宣伝に

公演ツイン

末年 9月29日(金)

ハイデルベルグフェスティバルに参加

練習は月1回、日曜午後1時～4時に

去る11月6日、午後1時30分より中央公民館に於て第2回運営委員会が開かれました。議題の主なものは、今年の演奏会になくわる当日のスケジュールや、これからの行幸の日程などのほか、来年度予定されている「ドイツ公演」についても具体的な話し合いが行われました。

演奏会当日のタイムスケジュールについては 12月1日付オ9ニュースオ27号に詳しく掲載致します。例年のことですが新規に入団された方も教多く居り、当日はいろいろと雑事に追われることが多いため、チケットの精算は出来るだけ早目にするように努力して下さい。

ドイツ公演
に際して

ドイツ公演に
 団員の皆さんが今一番関心を寄せているドイツ公演については、さきに8月下旬の予定とお知らせ致しましたが、現地ではバカンスでオーケストラの人員を集めるのに多額の費用がかりり不可能との情報がありましたが、9月29日のハイデルベルグフェスティバルに出演できる可能性があり、この予定で現地のエージェントと接衝を続けることに決定しました。計画通りに決まると来年の9月27日出発10月4日帰国の予定で旅行日程が組立てられます。しかし折角のヨーロッパ旅行なので、希望によりドイツのロマンチック街道、スイスアルプスなどのオプションツアーも考えることにしています。

ドイツ公演の練習責任者は松原真介先生とし、1月29日、2月26日、3月26日、4月23日、5月28日、6月18日、7月23日、8月20日、(いずれも日曜日、午後1時～4時)に行い、9月10日には公演団としての総仕上げを行います。また、この公演の責任者に田中副団長を、旅行責任者に赤羽運営委員を送りました。同時に現地エージェントとパイプを持つ阪急旅行社に旅行業務を依頼することも決め、いよいよ夢のドイツ公演にその第一歩を踏み出しました。

費用や具体的な日程は、ハイデルベルグからの返信を待って募集要項を定めチラシを作成することになっていますが、12月10日の発表会には固に合わせるよう作業を進めています。

これからの予定は 通常レッスンの他、12月8日(木)が指揮者レッスン、12月10日(土)が本番、12月24日(土)PM6:30「ホテルすわ」にて第9クリスマス会(会費3,000円)、1989年1月12日(木)新年会 並びにドイツ公演説明会(会費1,000円、第9練習場)が決定されました。

勇気をだして売りきろう

＜アルト＞ 植原 利子



歌のひろば

人垣の間より覗けり己が菊

嘔せてをり百の菊花の精のなか 利子

あちこちの集会所の庭に、町内会やら老人会の人達の労作、菊花展をよく見かける。そして事務局からは 熱(厚)き封筒をいただきされる季節でもある。暢気に歌っている気分が、ズシーンと現実にも強烈に引き戻される時でもある。封筒を覗きながら、(これさえなきゃあ、ほんとにいいんだけど。)とは毎年近くから嘆息とともに漏れる声である。正直言って私もそう思う一人だから――。

けれど運営委員の方々も尚更 切実ではなかろうか。封筒を手渡している事務局長の姿をご記憶でしょうか。素々控目なご性格なのかもしれませんが、申し訳なさそうに配られていました。しかも一人一人に「よろしく、どうかよろしく」と目が言っていました。この時節、役員さんも身が細る思いなんですね。

よく言われるように第9はプロ団体ではない。大多数は「チョット歌が好き」程度のシロウト集団である。だから興業主やスポンサーがっついて金銭面はオマカセを!! なんてことあるはすがない。

然らば、田員一同が券売りという精神的プレッシャーの中で捌くのだが、過去に清算時に一枚御主人用で、あとは買ってくれる人がいないからと、九枚返しておられたのをお見受けしたことがあります。太所帯の団体だから、それでもいいと多分思ったのでしょう。

巻の発表会等で、例えば日本舞踊や等曲の場合、一人二、三万の出演は当たり前と聞いております。ものは思いようで、私達も出させてもらえる会費だと思ったらどうだろう。(各自が全部買いたいと言ってるのではない。誤解のないように)

私達は12枚だが、運営委員は皆その三倍も四倍もの券を持たれているのである。どうもどこの世界でも、いい気分を味わうにはそれだけの代償がいるようである。社会では、くる日もくる日も物を売って生活されている方が沢山おられますもの……。

現実には厳しいですが、そんなことも心にとめて、勇気を出して売りきろう。大変な思いをした後のブラボーは、また感激一入……かもね！ 終りに 昨年のコンサートと同様 成功裏に開催出来ますことを心より祈ってます。

高井美知子 *Soprano Recital*

ピアノ
江端津也子

一般 ¥1800 学生 ¥1000

1988年 12月21日(水)Pm 7:00 高崎市文化会館

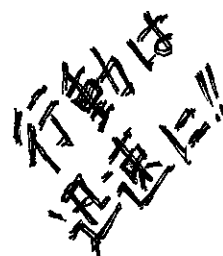




いよいよ本番

今から心の準備を

精算用封筒は忘れずに



本番までいよいよあと10日に迫りました。徐々に盛り上がる緊張感——これが第9の得も
云えぬ醍醐味であり、楽しさ、感動でもあります。そして、こればかりは第9に参加した人たちだ
けに与えられる特権と云っても良いでしょう。だからこそ歌い終った後の涙が徹夜の珠玉と
して光り輝くのです。……が、そこへ到達する前に私たちには未だやらなければならない現実の
仕事があります。演奏会当日のことです。第2回運営委員会で決定された演奏会の予定をお知
らせしますので、これに沿って行動して下さい。

演奏会当日のスケジュール

- | | | |
|----------|-------------|------------------------------|
| ■ 役員集合 | PM. 1:30 | 音楽センター 1.2会議室〈団員受付等準備〉 |
| ■ 一般団員集合 | 2:00 ~ 2:30 | 受付及びチケットの最終精算〈封筒を必ず持参の北〉 |
| ■ 発声練習 | 2:40 ~ 3:00 | 1.2会議室〈女性の控室です〉 |
| ■ ケネフォ | 3:00 ~ 5:00 | ステージで オケ合せ 〈本番の並び位置確認〉 |
| ■ 食事・着替え | 5:00 ~ 6:00 | 外出無用、おしゃべりは控え目に。 |
| ■ 座 場 | 6:00 | 客入れ。 出演準備、ステージ横では静粛に。 |
| ■ 開 演 | 6:30 | ステージ山台に上る時は 足元に注意。 |
| ■ 終 演 | 8:15 | 終演後は素早く着替え、レセプション(1.1会議室)準備。 |
| ■ レセプション | 8:45 ~ 9:45 | |
| ■ 後片付け | ~10:00 | みんなで協力して手早く……。 |
| ■ | PM.10 以降～ | 2次会等は各自随意。 |
- 次週**
8日は

PM.10 以降～ 2次会等は各自随意

ステージ衣裳など

- ▶ 服 装
女子：上衣白ブラウス、黒ロングスカート、黒靴。
男子：白Yシャツ、上下黒スーツ、黒蝶ネクタイ、黒靴。
- ▶ 受 付
当日の軽食代1,000円(レセプション費込)をお納め下さい。
チケットの精算時には精算用封筒を忘れずに御持ち下さい。
- ▶ 注 意
各種連絡及び指示には素早く対応して下さい。行動は迅速に。
自分勝手な行動はつしむこと。忘れ物のないようご注意下さい。

次週
8日は
指揮者
レッスン
です。



嬉しかった一枚の“ちらし”

＜アルト＞ 木村 桂子

小学校の時、年末にあのNHK教育テレビで行われる第九を観て聴いてどこがどう良かったとかわからないけれど鳥肌がたってゾクゾクする程感動したのを覚えています。「生意気な子供だったなあ」と我れながら思ってしまうのであります。

歌のひろは" それ以来、第九にあこがれて「いつか自分も唄ってやる!」と心に決めていました。高校に入学し、友人が私に1枚の“ちらし”を持ってきたのです。それは高崎第9合唱団の団員募集の“ちらし”でした。“ちらし”を見ただけなのに 妙にうれしくてうれしくて……

今年で第九を唄いはじめて3年目。現在通っている学校でドイツ語を勉強しているのにもかかわらず、正確な発音が出来ません。それに加えて、他人の迷惑など気にせず「音程などなんだ!!」で一生懸命唄っているのです。

こんな私ですが、第九が好きで好きでたまりません。皆さんどうか温かい瞳でみてやって下さい。そして皆さん、本番、頑張りましょう!!

苦しんでこそ大きな感動！

チケット発売に努力を

「第⑨にチケット売りが無ければ、ほんとにいいんだけれどねエ。」——そう、あなたもそう思う？私もそう思います。誰だってラウをして自分の好きなことが出来れば、みんな

結構なことはありません。でもこのせちからい世の中、そう甘いわけにはいきません。第9の演奏会を行うためには500万円近いお金がかかります。このお金は誰が負担してくれるのでしょうか。誰も負担してくれませんね。だから私たちは、この費用を自分たちで出し合わなければ演奏会は開けないのです。しかし何万円も自分が負担するのは大変なことです。（中には自分で全部買取って只で配っている人も、かなり居ますがー。）そこで聴きに來られるお客様に御負担をお願いしているわけです。（アマチュアとして誠に虫のよい話ではありますが……。）

従って儲け仕事ではありませんから、必要至貴ギリギリの入場料を押さえ、そのかわり団員一人一人が、決められた枚数をきちんと消化して行かないと、高崎の第9演奏会は消滅の運命を辿らなければなりません。そうになったらオーケストラをバックに合唱するなどという演奏会は永遠に失われてしまうでしょう。苦しみながら一枚でも多くのチケットを売る。この苦勞が続いた時こそ最高の歓喜が、ひたひたと心の中に押し寄せ、満ち足りた至福の樂園にあなた自身をいざなうことでしょう。シラーの詩にも云う、「そうだ！ たった一つの心をも この世で自分のものだと思える人はだ。そしてそれが全く出来ないものは泣きながらこの仲間からはずれているがいい」と。演奏会は私達自身が創って行くのです。チケット売り、頑張りましょう。

BEETHOVEN
SYMPHONY

第9合唱の活性化めざして

次世代を担う 若人よ奮起せよ!

副団長 田中清巳

高崎第9合唱団の第15回演奏会もいよいよ明後日に迫り、今準備のチェックに事務局は大忙しです。それでも実務を担当したことのない団員にとってはそういった多忙さは余りわからないかも知れません。それというのも、この15年間 様々な運動を続けてきた中で、それなりの第9としてのノウハウが蓄積されてきているからです。

試みにどんな小さな演奏会を開くにしても、費用さえ用意すれば誰でも簡単に開けるかという決して、そう容易く事が運ばないことがわかるでしょう。綿密な企画から始めて、それぞれの部門を担当する責任者、その手足となって動けるライン、そして自分たちの組織とは別な種々の交渉相手との融合、それらが一体化して初めて演奏会の成功をもたらすことが出来るのです。1回限りならその時だけの瞬発力で全力を傾注することも出来ますが、第9のように息の長い文化運動を続けて行くためには、息切れしない工夫が必要となります。

最近では地方の自治体などで沢山のイベントが企画されるようになりましたが、こういったイベントを開催しようというその目的は、ほとんどが地域の活性化を目指したものです。第9合唱団の息切れしない工夫とは、この「活性化」に他なりません。いつも「若々しく、^{きずく}瑞々しい組織」であることが高崎第9合唱団の目的であり、理想像でもあります。

来年は「夢のドイツ演奏会」を実現させる年です。こういった大事業の時こそ「若い力」がもっとも必要とされる時でもあります。そしてもっとも大きな貴重な経験が得られる又とない機会でもあると思います。

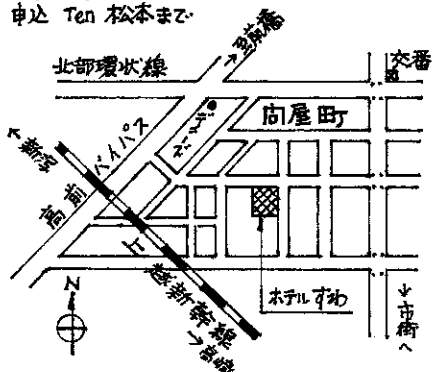
15年を全て高崎第9の役員も大分高齢化が進んできました。この運動を次世代に引継いで行くためにも、今から若い活動家の出現を望むものです。

「組織は人なり」と云われます。組織がマンネリ化すればその組織は衰退します。活性化していくためには何としても若い団員の積極的な運営への参加と行動が不可欠です。次世代を担う若人よ、大いに奮起せよ!!

第9クリスマス会 12.24(土) 16:30

高崎市向屋町 ホテルすわ

会費 3,000円 <昨年のクリスマスキャロルを歌います>
申込 Ten 松本まで



大トリ合唱で15年

<アルト> 渡辺 寛子

「苦しみをのり越え歓喜に至る」この言葉の好きな主人と第9を唄い15年。人生の半分を過ぎる頃からの15年は長く、貴重な歳月でした。でも、あつと言う面にはすぎた気がします。

「喜びも悲しみも幾歳月」佐田啓二と高峰秀子の映画。オライ岬のオー 燈台守はアーノの頃結婚して、食しくとも美しく……と出逢い、子供を生み育て家を守った前半よりも、すでにこの15年の方が長い。

どうして第9なのか、何に感動したのかな、と考えて見ると、何と言っても最初のステージでの指揮者の迫力だったのかもしれない。冬なのに汗を掻はしシュツ!とかグッ!とかの声を発して振る指揮、音の悪い楽器奏者をキッと睨む大きな目。あたり前だけどこの音楽会での指揮者は後姿ではないのである。こんな感激なかったナア。

発表日前日に風邪をひき朝起きたら声が出なくて、今頃唄っているだろうなとフトンの中にくせしい思いをした年。小6の娘の参加で話題性ありと朝のNHKの番組にインタビューをうけ得た年。昨年まで出なかった音が出るようになり喜んだ年。又逆に出なくてそんな筈はないと、もがきたい気分だった年。etc...

ベートーヴェンさんよ、一年一年歩みを重ねる毎にあなたの気持ちがわかる気がする。詩はシラーのものだけど、あの悲鳴をあげる曲は、あなたの人生、そして私の、私たちの人生。小さな人間の一生の中に何度くり返されるかもしれない苦しみと喜び。今日も、明日でもある。私は今元気に働ける事の喜びを噛みしめています。来る人生の幕切れのときに満足が味わえるように、生活のツーツの確かな手応えを感じて生きたい、と思っています。

歌と、仲間と、健康と、幸せを感じる心に感謝して、ガン・バ・ルー。ウンッ!

先週で11月も終り、今週から第九の季節12月です。(なぜ日本で第九が師走に演奏されるのか知りませんが。) 今年はい個人的には、高崎へ引越したり、大きな手のかかる息子ができたりと、第9に参加させていただくのは無理かと考えていたけれど、練習参加もままならず、ふと気が付くと、もう12月を迎えてしまっています。しかしながら、子供の頃よく意味も分からず口ずさんでいた「赤いくつ」、雨の日が楽しくなった「雨ふり」、難かしくて覚えられなかった「雨ふりお月さん」、遠い国に憧れた「月の砂漠」など今改めてその美しさと難かしさを感じます。

そしてその懐かしい歌を多勢で合唱できるのはとても楽しい事です。(私は子供の時、童謡は絵本とそれについていた、ソノシートレコードで聴いた世代です。) 明後日が本番ですが、オーケストラの伴奏で歌う童謡、きっと市民の皆さんに喜んで頂けることと思います。



歌のひろば

ドイツ公演へのステップ

一曲一曲に心をこめて

民 藤 芥 長 田

「高崎第9合唱団」が結成されて、5年目位まではとにかく無我夢中の毎年でした。5年目にして、ステージの前にいるオーケストラをのり越えて、合唱の迫力が客席に感じられる様になったのでした。そうすると人間の夢はふくらみ10周年には是非「N響」とやってみたいと誰いうこと無しにイベントが掲げられ、それからは毎年に前進した演奏会がもてる様になりました。

10周年を記念しての「N響」との第9は大成功で、この張りつめた気持は今でもすばらしく思い出されます。

この張り切った気持ちを土台に今度は15周年記念に本場のドイツで歌ってみたいという大きな夢が生まれてきました。幸なことにわが「第9合唱団」は、メンバーの皆さんがとても協力的で和気藹々(わきあいあい)の練習が、毎週続けられております事は、とても嬉しく頼もしいことと思っております。指導される先生方の熱意は勿論の事ですが、更にそれ等をかつしりと支えている事務局のスタッフの皆さんの賢明な、献身的な組織力には、いつも感じている次第です。

さてドイツ行きの事です、これだけ条件が揃っていればドイツ行きも夢ではないという確信を私は持ったのでした。いよいよ実行委員のご努力で、来年の9月に実現出来る事になります。各パートのメンバーがある程度揃うということが第1条件です。折角の機会ですから、技術も音楽性も立派に歌い上げていただきたいと、理想を高く期待するわけがあります。

どうかたくさんのメンバーにご参加いただけます様、皆様の絶大なご協力をお願い申し上げます。そして国際交流の場にも役立つ様な「高崎第9合唱団」の意気を高らかに歌いあげてきていただきたいと重ねてお願いいたします。

本年も いよいよ本番が 今日、目前に迫ってまいりました。皆様も大きな期待と感動に胸ふくらませて最後の練習に熱が入っていることと思います。先ず目前の山にいどみ、そして来年への飛躍にがんばって下さい。小さな曲も、大きな曲も 一曲づつ 心をこめて会場いっぱい感動が流れますことを期待しております。



希望に燃えて 高崎第9 仙台支部へ

〈ピアノ伴奏・アルト〉 中島 ゆい子

「歌のひろば」ノートの表紙のほこりを払い、これを書いてい
ます。編集の田中さん、遅れてゴメンナサイ。大変御迷惑をお
かけしました。

歌のひろは”

歌のひろは” さて、さっそくですが、やっと私のような者をひろってくれるというありがたい人が見つかり、悲願の(?)結婚式を挙げることになりました。相手の名前は 星 章彦 (31才)で 東北大の附属病院に所属している 放射線科のお医者様で、今は勉強の為、医科歯科大に勤めています。結婚後は 仙台に2人で帰ることになるので、第九の伴奏も今回が最後になりました。本番の間際までがんばって弾いて唱って、4セットを売ります。

高崎第9合唱団には3年間お世話になりましたが、伴奏や合唱の面で教えていただいたことはもちろんですが、それと並んで先生方、事務局の方はじめ、たくさんの方々と知り合い音楽を通して心が通じ合えたことが、何物にも代えがたい宝物として残りました。お世話になった皆様本当にありがとうございました。この経験を生かして第二の人生を実り豊かな希望に満ちたものにしていきます。

来年4月からの住所は下記になります。仙台は杜の都、風光明媚な落ち着いたよい街です。是非遊びに来て下さい。

仙台市宮城野2-7-6 高崎第9合唱団 仙台支部 星 ゆい子

おめでとう
ゆいちゃん

**おめでとう
ゆいちゃん** …… というようなわけで、中島ゆいちゃんのピアノも今日が最後、長い間、本当に有難うございました。結婚式は 1988年12月17日(土) 午前11時より東京は麻布カトリック教会で、また結婚披露パーティは同日の午後0時30分より 港区北青山3-6-1 ハナエ モリビル5F オランジェリードバリで行われます。招ねかれざる客もどんどんお祝いに押しかけましょう……ということも出来ませんので、せめて祝電ぐらい オランジェリードバリ気付で、中島ゆい子宛にどうぞ。(稿)

今日の演奏会が終ると、もう今年も終り、などと思ってオ9とは関係なくなってしまう人が毎回何人か居ります。しかし一寸お待ち下さい。新年早々また「新たなる第9」が始まるのです。もちろん「ドイツ公演」を目指しますが、ドイツへ行かない方も共にレッスンに参加できます。その前の新年会は、歌あり酒ありピアノありで、高崎第9ならではの新春初顔合せがあります。新しく団員になりたい人も誘って、新春の抱負を語り合ひましょう。

’89高崎第9
新年会

'89年1月12日(木)
PM. 6:30 ¥1,000
高崎第9練習場

次のターゲットはドイツ

〈運営委員・テール〉 渡辺 義之

いつもの様に舞台上より、山田先生の指揮棒で童謡メドレーが演奏される。一無事終った。オ9の1楽章、2楽章、3楽章と進んで、いよいよオ4楽章の合唱だ。何となく涙がジーンとにじんて来るような感激。あゝこれで今年も暮れる。毎年毎年苦しんだり喜んだりして15回目が無事終った。めまぐるしい毎日の連続の中で、30代から50代までの私の生活の中心にオ9があった。最初にオ9をやりたい、最高のレベルのオ9の演奏を自分達の力を合わせてやりたいとただ思っただけのことだが、思いもかけず大勢の団員の力の結果となって念願のN響の演奏会となり、来年のドイツ公演へとつながって来たのだ。

何事かを望み、それに挑戦して結果が得られる。その連続が人生であり、その瞬間が幸福なのではないか。人生の目的は感激であると思うし、幸福の実態も感激なのではないだろうか。私はオウによって感激の何たるかを教えられ、ベートーヴェンによって人生の何であるかを知らされた様に思う。コンピューターによって制御された、機械文明の現代こそ、その方向性を芸術文化によって求めなければならない。

私にとっては今年のオグは 30 回目である。高崎の 17 回をはじめ、前橋、足利、沼田、上田、東京と思い出はつきないが、苦勞の多かった年のオグほど感激も又大きいように思う。まさに苦惱をのりこえて歡喜に至るのだと思う。一番悩みが深い年代にベトウエンと知り合い、生活のバックボーンと成し得たことは、私にとって望外のよろこびであり、オグの活動を通じて知り合った沢山の人々こそ、私にとって何ものにも替え難い宝である。

さて来年の念願のドイツ公演を成功させて、次はより大きな舞台を目指してベートーヴェンと共に歩き続けていきたいと思う。1988年ご苦労様でした。1989年もより輝かしい年でありました。

1月12日(木) Pm. 6:30

为9新年度

¥1,000 カトリック教会内 **为9練習場**

下少公演 発声式

'89. 1. 29 (日) PM. 1:00

新入団者歓迎 高松町第9練習場

節目々々の演奏会

フィナーレのすがすがしさと安堵感に包まれ
今年も又、一つのオラを積み重ねた。ステージ
を離れる一歩一歩は、しかしすでに来る年へ向

〈事務局次長・テノール〉 松本 茂 晴

って歩き出す。継続してやっているものは全てそうであると思うが、一つの大きな節目を越えることは、その時点から更に次を目指すこととなる。終りということは長い目で見ると一つの通過点でしかなく、終点と起点が一語になっているに過ぎない。この節目を幾つ作る事が出来るか、重ねていく事が出来るか、それが個人のものであれば、長い人生の中で自らでしか決めることのできない価値感の上に成り立っているし、多くの人々が集まる組織にあっては大きな共通の価値感が存在しなくてはならない。

私たちオ9合唱団にあっては、それはベートーヴェンであり、合唱である。参加する動機や考え方はまちまちでも、合唱という一つの形にまとまったとき それを生み出す合唱団は（共通の目的や理念で結ばれた）あたかも一人の人間であるかのごとく 大きな意志を持つてくる。そうしてこの感動を生み出すエネルギーは、一人一人の小さなエネルギーが結集したものでなくてはならない。演奏会という節目を起兵に新たな感動を探しに、より多くの仲間が新しい一歩を共に踏み出されることを願ってやみません。ドイツの生ビールと生ハムがだんだん手の届くところまで来ました。この年の無事と新しい年の夢に乾杯！！

10月9日と12月10日の感動

苦(9)を越えて 死(10)に至る!

〈運営委員・テール〉 若井 昇

私は「一生燃焼一生感動」を生きる目標にしています。この10月9日にあまり期待も持たずに涸沢の紅葉見物にでかけました。今年は天候が不順だったか

らです。ところが上高地から横尾谷を経て涸沢カールに入った途端、目を見はりました。全山真赤に燃えていたからです。そして、3,100mの奥穂の稜線から満天の星を仰ぎ、又雲海の彼方から10月10日の御来光に接したとき、歩行9時間の苦勞は消え、大自然の美しさと壮大さに圧倒され、究極の感動に侵ることができました。

さて今年の第9は私にとって15回にもなるためかマンネリ状態でした。特に私の属している合唱団ゴールパークが、コンクールに挑戦したためこれに時間をとられました。幸い一般の部で県代表になり、関東大会でも銅賞をもらいましたが、声をおさえて歌ったためか燃えることもできず唯入賞した満足感しか残りませんでした。

こんな状況で12月10日の本番を迎えましたが、今年は何故か燃えに燃えました。これはベテランの山一さんの指揮にもよりますが、私は曲の持つ偉大さにあると思います。おかげさまで12月11日まで飲んでたビールの味は格別でした。又来場の多くの方からも、すばらしかった、感動しました。と云われましたがそれは我々の永い練習の成果を一時に爆発させたその真剣な歌い方に感動したのではないのでしょうか。私自身はまだシラーの詩を頭に浮かべながら、頭声による美しい発声で歌うことが出来ていません。これから感動とより高い音楽性を求めて、声の出る限り、命のある限り、高崎で、足利で、ドイツで、皆さんとともに歌っていきたいと思っています。

〈1988.12.12〉



新時代への幕あけ

積極果敢に行動を！

ドイツ公演の成功目指して

昭和の時代も終りを告げ、平成元年となって今日で5日目を迎えます。本来なら本稿で新年の御祝辞を申し上げるところですが、本年は差控えさせて頂きます。

まさに激動の時代と云われた昭和の歴史は、その時代と共に生きて来た私たちにとって、生涯忘れられない時代として位置づけられると思います。特に戦前、戦中、戦後、復興、奇跡の繁栄を体験してきた人々にとっては、何世代もの時代を生き抜いてきたような感慨を持つ方が多いのではないでしようか。そして今、「平成」という新しい時代が開かれました。私たちは過去の歴史をしっかりと踏まえたうえで、この新時代が人類にとって恒久の平和をもたらす時代となるよう「第9」運動を通じて努力して行こうではありませんか。

時あたかも、高崎第9合唱^団は15周年という節目^{フシメ}を越え、これを記念するドイツ公演が、平成元年という時代の節目と重なったことは偶然とは云え、心あたらまるものを感じます。私たちは是が非でもこのイベントをやり遂げ、高崎の音楽文化の昂揚という枠から、大きく世界各国との文化交流の要となるような礎石造りを行いたいと考えています。

いよいよ今月の29日(日)午後1時から、このドイツ公演のための第1回目の練習が始まります。例年ですと隔週レッスンの時期に当たる訳ですが、今年はこれを返上、ドイツ公演の成功に向けて全力を傾注して行く方針です。同時に毎年暮れに開催している定期演奏会も、引続いて行うこととしていますので、ドイツへ行く方も、行かない方も、共に力を合わせて素晴らしい「第9」の魅力を、多くの人々にアピールして頂きたいと思っています。

とかく日本人は「引込思案」の人が多いと云われています。ドイツへ行くためには従来のこうした垣根をとり払い、一人一人が積極果敢に行動することです。合唱団運営に対しても、皆さんの積極的な参加を期待して止みません。

1月29日(日) P.M. 1:00~4:00

ドイツ公演・初練習

高松町カトリック教会内 高崎第9練習場
入団金2,000 用費6,000 当日受付いたします。

はいはい ハイデルベルグへ Go!

指揮は　ペーター・シューマン氏

オーケストラは ハイデルベルグ市交響楽団

昨年12月28日 ハイデルベルグより次のような決定事項について連絡がありました。

1. フェスティバル正式名 Heidelberger Herbst (ハイデルベルグ秋祭り)
2. 主催者 Stadt Heidelberg (ハイデルベルグ市市長)
3. オーケストラ正式名 Orchester der Stadt Heidelberg
(ハイデルベルグ市交響楽団)
4. 指揮及びコンサート総責任者 Peter Schumann (ペーター・シューマン)
5. 演奏会場 Heilichgeist Kirche (聖霊教会)
6. コンサート主催者 Kantorei der Heilichgeist Kirche
(聖霊教会合唱団)
7. ソリスト Peter Schumann 氏が選考中とのことです。

以上のほか、現地よりの希望事項として コーラスの総数は120名を下まわらないように、又、その内訳として ソプラノ 30% (36人)、アルト 30% (36人)、テノール15% (18人)、バス 25% (30人) にして頂きたいとのことです。

N響の時のテープを送りましたが、このテープを聴いた結果だと思いますが、高崎第9合唱団は特に男声が弱いとのことですので、ドイツ公演に当っては男性の確保に団員の格段の御協力をお願いします。

HEIDELBERG

ネッカル河畔のロマンチックな町ハイデルベルグはネッカル川がオーデンの森から、ライン平野に流れ出る景勝の地にあり、5世紀の長きに亘りフンファルツ選帝侯が居城としていた古城がそびえ、ドイツで最も美しいといわれている古都

でもあります。又ドイツ最古の大学を誇る大学の町で、森と山とぶどう畑に囲まれ知的雰囲気のただよふ所としても知られています。人口は約13万人。

聖霊教会は1399年~1441年に建てられ、

代々選帝侯の墓所でありました。今はループレヒト王(1410年没)と妃エリーザベト・フォン・ホーエンツォーレルンの墓だけが残っています。教会側廊の上に貴重なパラチナ文庫が1,623年までありましたが、三十年戦争中にローマに移送されてしまいました。教会をとりまいて売店が並んでいます。すでに15世紀には店が出ていたようです。(「ハイデルベルグ」ガイドより抜粋)

HEILICHGEIST
KIRCHE

BEETHOVEN
SYMPHONY

先ず団員間の交流を

郷土の歌

年末の定期演奏会は例年通り挙行

昭和から平成へと時代が大きく転換してから、第9合唱団にとっては今日が本格的な今年の活動の始まりとなります。今までずっと歌い続けてきた団員ばかりでなく、今日初めて入団したばかりの方も数多く居ることと思いますが、高崎第9合唱団が、この数年の目標としてきた「夢のドイツ公演」が、今や幻から現実のものとなってその第一歩を踏み出す記念すべき日でもあります。

高崎第9合唱団は1974年第1回の演奏会を開いてから昨年12月まで毎年欠かさず第15回の演奏会を積み上げてきました。この15年に亘る足跡を振り返って見ると、山あり谷ありで「第9合唱団における激動の時代」といって良いかも知れません。「継続は力なり」といった格言の重みが、軟く花開く時期に到達したとも考えられないことはありませんが、私たちは、この「ドイツ公演」を機に、音楽文化の国際交流を深めると共に、地域文化の振興を目指す自覚を一層強く持ちたいものです。

今日お集りの皆さんは「高崎第9合唱団」を代表して「ドイツ公演」に参加するものです。決して高崎第9合唱団から選ばれた特別な団員というわけではありません。私たちはこのドイツ公演のほかに年末における「定期演奏会」も例年と変わることなく行うことになっています。従って6月からは通常木曜日に行われる練習にも参加して頂き、より多くの団員との交流をはかって頂きたいと思ひます。

私たちの合唱団には「特権」は一切ありません。すべて皆同じ立場で発言し、民主的なルールに基づいて団の運営を行っています。そして一人一人が積極的に団の運営に参画し、創造的音楽運動を展開しようとしています。ドイツへ行ける人も、又、ドイツへ行けない人も、ともに高崎第9合唱団員なのです。「ドイツ公演」に参加する皆さんは、間違っても優越的態度をとったり、「団員中「団員」をつくることのないよう自戒して頂きたいと思ひます。

すでに公演日程、指揮者、場所（演奏会場）も決定しました。高崎第9合唱団の歌声がハイデルベルグの森に心地よく鳴り響くよう、一致協力して頑張りましょう。

声高らかに力合わせて



高崎第9合唱団は15周年記念イベントとして数年前からベートーヴェンの故郷で「第九を歌おう」と企画、本年実現の運びとなったわけですが、実施に当たっては、みなで力を合わせて協力していかなければなりません。練習時にいろいろな連絡をしますが、決定事項の周知はこのニュースを主体に行いますので、必ず読むようにお願いします。

又、このニュースの役割として、団員の様々な意見や自己紹介も掲載して、お互いの交流を深めることなどがあります。どしどし投稿してこのニュースをご活用下さい。

ドイツ公演コンサート

指揮は **ペーター・シューマン氏**

Heidelberg 聖霊教会で

現在までに決定されている事項は次の通りです。

1. フェスティバル正式名 ハイデルベルグ秋祭り
2. 主催者 ハイデルベルグ市、市長
3. オーケストラ正式名 ハイデルベルグ市交響楽団
4. 指揮者 ペーター・シューマン
5. 会場 聖霊教会
6. コンサート主催者 聖霊教会合唱団
7. ソリスト 現在ペーター・シューマン氏が選考中。
8. 公演日 1989年9月29日

Peter Schmann のプロフィール

1933年、西ドイツ、ハナウに生れる。教会音楽を Helmut Walcha (ヘルムート・ヴァルチャ) に師事。ローマで Fernando Germani (フェルナンド・ジェルマーニ) のもとでマイスター資格を取得する。指揮法を Kurt Thomas (クルト・トマス) と Herman Bittner (ヘルマン・ビットナー) のもとで学ぶ。

最初のコンサートは郷里のハナウで開き、その後ヴュースバーデン、ハンブルグ等で演奏活動を繰り広げ1970年よりハイデルベルグの市の中心部にある聖霊教会 (Heiliggeist Kirche) のカントールとして活躍し今日に至る。さらに現在、Heidelberg Kirchen-musikalisches Institut (ハイデルベルグ教会音楽専門学校) と Staatlichen Hochschule für Musik Heidelberg Mannheim (州立ハイデルベルグ・マンハイム音楽大学) の Dozent (講師) である。

シューマン氏は、バッハとロマンチカのほか、特に前衛派の作品の初演を含めて多く演奏し、ヨーロッパ各地やラジオ、テレビで活躍している。1986年2度目の来日で金沢において関西フィルと金沢音楽文化協会の「第九」と「荘厳ミサ」の指揮をし、また自身オルガンコンサートを開いた。

次の練習日

2月26日

PM1:00 ~ 4:00

お忘れなく!

阿部 延 作品発表演奏会

日時 1989年2月11日(土) PM1:30開演
会場 高崎・地域医療センター・ホール(市役所西前)
内容 山村暮鳥の詩による歌曲 他



高崎フラウエンコール



Der Oberbürgermeister der Stadt Heidelberg

19. Januar 1989

Takesaki Daisuke Gashoden
Frau Yoko Akabane
9 - 13 Nijvischmachi

Takesaki - Shi
Gomas - Ken
JAPAN

Sehr geehrte Frau Akabane,

erfreut habe ich zur Kenntnis genommen, daß Sie am Freitag, den 29. September 1989 in der Heiliggeistkirche in Heidelberg bei der Aufführung der 9. Sinfonie von Ludwig van Beethoven unter Leitung von Peter Schumann zusammen mit dem Orchester der Stadt Heidelberg mitwirken werden.

Dieses Konzert wird im Rahmen unserer "Kulturwoche zum Heidelberger Herbst 1989" sicher zu einem Höhepunkt werden. Ich freue mich ganz besonders, daß zu einem solchen kulturellen Ereignis Gäste aus Japan nach Heidelberg kommen.

Die Stadt Heidelberg heißt Sie hiermit zu Ihrem Konzert in Heidelberg herzlich willkommen und freut sich auf Ihren Besuch in unserer Stadt.

Mit freundlichen Grüßen

Reinhold Zundel
Reinhold Zundel

Reinhold Zundel
Postfach 106520 - Mannheim 10 - 68002 Heidelberg
Telefon 06221 5250 201 - Telefax 06221 5250 202

高崎第9合唱団殿

拝啓

1989. 1. 19

1989年9月29日 金曜日に 聖霊教会に於いて Ludwig van Beethoven 作曲の第9シンフォニーを Peter Schumann 指揮のもとに Heidelberg 市交響楽団で演奏することを喜んで お引受けいたします。

このコンサートは 我々の「1989年ハイデルベルグ秋祭り文化週間」の中で 最高の催物となるでしょう。このような文化的なお客を日本から Heidelberg へお迎えすることができますのは、私にとっても大変喜ばしいことです。

ハイデルベルグ市は、この手紙で皆様が、Heidelberg のコンサートに いらっしゃることを心から 歓迎のしるしとし、我々の市への訪問を、お待ちしております。

親愛なる Reinhold Zundel

※ この手紙は、恰度 前回練習の時届きました。訳文は 赤羽洋子さんにお願ひしました。(編)

ハイデルベルグ市長より

秋祭り文化週間へ
歓迎!! の
メッセージ届く

去る1月19日付で ハイデルベルグ市長の Reinhold Zundel 氏より 正式に 高崎第9合唱団宛のメッセージが届きました。(別項参照)

これにより 私たちが企画した「15周年記念イベント」も、いよいよ本格的なものとなった訳です。
“最高の催物となるでしょう”というハイデルベルグ市の期待に違わぬよう 練習に いそしみましょう。

渡辺義之運営委員

今日 社会教育功労者として晴れの表彰

今日午前10時から 高崎市中央公民館集会ホールに於て、昭和63年度 高崎市社会教育大会が開かれ、この席上で わが 高崎第9合唱団の運営委員である 渡辺義之 さんが社会教育功労者として、高崎市長及び教育長より表彰されました。これは第9合唱団としては初めての事です。

渡辺さんは 第9合唱団の創設以来、事務局長や運営委員を歴任、団の維持発展に寄与した事は勿論、「でかんしゃ合唱団」も主宰し、合唱を通じて 地域の音楽文化に大きく貢献していることが認められ、今回の受賞となったものです。

この表彰をみんなで喜ぶ「渡辺さんの社会功労者表彰受賞を祝う会」を本日の練習後 柳川町「ぶきこい」で開きますので、ご都合のつく方は是非ご参加下さい。会費2,000円程度。

エーツ?! 2月に国技館で大相模?!

いえ 5000人の第九 でした。



2月19日(日) 東京は両国、国技館において第5回 5,000人の「第九」が開かれました。これは国技館が新築された際、そのこけら落としに 墨田区が中心となって「5,000人で歌う第九」が組織され、以来 全国の第九の仲間にも呼びかけ、毎年2月、初場所のあと開かれるようになりました。

高崎第9ではドイツ公演の準備等があり、今年是不参加の予定でしたが、是非歌いたいという団員の要望もあって 急遽参加することにし、電話等で連絡、男4名女7名の計11名の方たちが 5,300人の仲間と共に歌って来ました。中には「2月19日、国技館に来て下さい。」と電話を受け「2月に国技館で 大相模 やってるのねしら。」と不審に思いながら参加した団員もいたとのこと。それにしても 大相模 だったら 黒のロングスカートなど必要ないと思うんですがねー。

5月20日(土)
ミシガン大学
グリークラブ
高崎公演に
みんなで協力

高崎市の姉妹都市 バトルクリーク 市から 高市女の英語教師として来ている ニール・ラーナー (高崎第9合唱団・バス) は ミシガン大学 グリークラブのOBです。その彼の招請で 5月20日に ミ大 グリーが来高しますが、音楽センターで昼公演、夜は合唱を中心に 国際交流のディナーパーティが開かれる予定です。公演費用は 高崎市国際交流委員会が負担、入場料は無料となる模様。実行委員長は コールパークの 大河原氏、昼の公演企画運営部は 事業団の 若井氏、夜の国際交流企画運営部は 高崎第9の 田中副団長に決定。

ドイツ公演への取組み

一人一人が文化大使のつもりで

音楽だけでなく広い見識も養成を

寒の戻りが少しありましたが、異常気象の暖冬は、桜の開花を平年より、10日も早めているようです。毎年のことながら“春の季節”は生命の息吹きをそこかしこに感じ、何とはなしに浮きうきした気分にもなってきます。精神が昂揚し、意欲的に活動的になるのもこの時期が一番です。できるならこの力をハイデルベルグまでずっと持続させていきたいものです。

話はまったく変わりますが、先日長逝された日商名誉会頭の五島昇氏の生前語録が新
 聞に掲載されていました。その中の一つに次のような言葉があります。

「日本は世界に愛され、尊敬される国にならなきゃいけない。何が尊敬されるかというと、いくら金持ちになってもダメなんだ。やはり文化水準の高さだよ。東京はその中心でなきゃ」〈毎日・'89.3.21〉

東京というところを高崎と読みかえたイナと思いました。私たちの目指すものはまさにこの言葉の中に凝集されているようにも感じます。高崎第9合唱団が長年の夢として育てはぐくんできたものは単に「ドイツへ行って第九を歌おう」という事柄だけではなく、音楽を媒体にした国際文化交流がその根底にあってのことです。それだけに「ドイツ公演」は物見遊山のものではなく、一人一人が文化大使だという自覚を持たなくてはなりません。日本という狭い地域から世界という広い視野に立っての見識や行動が必要とされます。これからお互いの持てる情報を交換し合い、この公演を成功に導くための団員交流も活発に行うように各人が心掛けましょう。

ハインリッヒ・ブルグ
市長から
松浦高崎
へ第9の書簡

3月22日、ハイデルベルグ市長より高崎市長に対して、高崎サ
9合唱団を、「秋祭り」に参加招請した旨明らかにした書簡が
届きました。この手紙の中でラインホルト・ツンデル市長は、高崎
サ9合唱団によるベートーヴェン交響曲サ9番の演奏会はハイデルベル
グ秋祭りの最大のイベントとなるでしょうと大きな期待を寄せています。

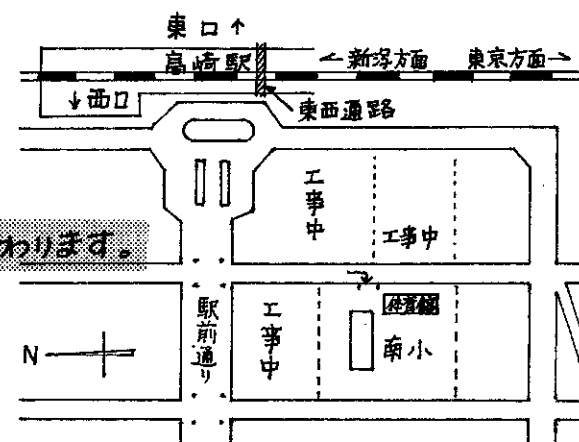
4, 5, 6月
南小学校の体育館

高崎駅西口 徒歩3分

練習場が替わります。

日曜レッスンの会場確保に事務局は頭を痛めていますが、市立南小学校のご好意により4,5,6月の3回は、同校の体育館が借用出来ることになりました。高崎駅西口から徒歩3分(誇大広告にあらず)の所

です。(案内図参照) 矢印の門からお入り下さい。 12時30分には会場を開けるようにしますので、13時からは練習がすぐ始められるように御参集下さい。



南小学校 案内図

来る4月16日(日)午後2時より「ぐんま日独協会」の総会と設立一周年記念パーティが前橋市日吉町1-14 群馬県民会館4F、第1.2会議室で開催されます。高崎第9合唱団ではこの「ぐんま日独協会」に「ドイツ公演」の後援をお願いしますが、この後援の決定が当日の議題として諮られることになっています。またこの会のアトラクションとして是非合唱を聴かせて欲しいとの依頼もありますので、そのためのメンバー(15名程度)の方々の協力を要請します。当日都合の良い方は、辛務局までお申出下さい。集合、その他連絡は後日行います。歌う曲は昨年の定演の童謡メドレーから「赤い靴」、「月の砂漠」の2曲を予定していますので、参加される方は楽譜をご用意下さい。

ニール・ラーナーの後輩がやってくる!!

5月20日(土) ミシガン大学メンズグリークラブと国際交流

高崎市の姉妹都市、米国ミシガン州のバトルクリーク市から総勢55名のミシガン大学グリーンクラブが5月20日(土)高崎にやってきました。前号でお知らせしたとおり、昼の部は音楽センターで公演、夜の部はビューホテルで国際交流を目的にパーティが開催されます。このパーティでは、グリーンクラブは勿論のこと、合唱団コールパーク、みどり会お母さんコーラス、双葉会、第9合唱団、鳥川ブラバンなどが参画し音楽を中心に両国のきづなを深めようとするものです。なお通訳のボランティアとして、デニースクラブ、ラボパーティ、高崎青友会の皆さんが当って下さるので、英語に自信のない方でも、自由に交流出来るよう配慮されています。高崎第9合唱団の皆さんには「ドイツ公演」を目前に、国際交流の試金石として積極的に参加されるようお願いいたします。パーティ券は¥3,000の予定でバイキングスタイル、飲食豊富です。

'89 第9総会とミニコンサート

みんなで参加、みんなで楽しむ

5月25日(木) Pm.6:30 高松町カトリック教会内 第9練習場

ゴールデンウークを控えて野山は花や緑に覆われ、心もはずんでくるような、一年で最も良い季節になりました。待望の「ドイツ公演」もこゝまでくると、もう指呼の間です。何もしないうちに、飛行機に乗っていた……ということのないよう今から心を引き締めて頑張らしましょう。

前置はさておき、5月25日(木)PM.6:30より、わが高崎第9合唱団の総会が、高松町のカトリック教会内第9練習場で開かれます。この総会は合唱団規約に基づき、毎年1回5月に招集され、昨年度の経過報告、決算、新年度の運営方針、予算などの審議のほか、新年度の役員が選任されます。こういった民主的ルールに従って運営されている合唱団は他にあまり例がないのではないかと思います。

初めての方は総会などというとても非常に堅苦しい感じを持たれると思いますが、本来はこういった形で、きちんとした団運営の方向付けがなされなければ「ドイツ公演」も掛け声倒れで終わっていたかも知れません。総会で決まった事は、団員の総意ということですから、それぞれが責任を持って、団の運営に協力して欲しいのです。特に今年は「ドイツ」という、私たちにとって未経験の国際文化交流があり、そのうえで年末恒例の第16回第9演奏会も行わなければなりません。多くの団員の積極的な運営参加をお願いします。

また総会のあとは、これも高崎第9合唱団ならではのユニークな「ミニ・コンサート」が行われます。このミニ・コンサートでは、合唱指導の先生方やピアニストをはじめ、団員有志による独奏、独唱、重唱など、普段のコンサートでは仲々聴けない、いわば第9合唱団の「かくし芸コンサート」とも云えるもので、総会の「きまじめさ」から解放され、楽しい雰囲気になった「ひととき」が好評です。今年はどんな曲が飛び出すか……

現在行っている「日曜レッスン」は、ドイツへ行かれる団員が中心ですが、総会後の6月8日(木)から始まる練習は、一番最初から、12月定期演奏会めざして、一つ一つ積み上げ反復したものとなります。ドイツへ行ける方も、行けない方も一緒になって、新しい「第9」の創造に一層力強く邁進していこうではありませんか。



歌の心は“心”

ドイツへは使命感もって

副團長 田中清巳

3月31日午後1時、有藤民団長に同道して 赤羽運営委員、上野事務局長、松本事務局次長共々、松浦高崎市長に会見。高崎第9合唱団の「ハイデルベルク公演」について、国際文化交流推進の立場から是非この壮業が成功するよう、行政サイドからの後援をお願いして参りました。市長は「大変結構なことであり、出来る限りの協力を惜しまない」と好意ある約束をしてくれました。そして4月11日午前11時、市役所内の記者クラブで記者会見。翌4月12日朝刊には、朝日、毎日、東京、サンケイが、4月14日には読売がそれぞれ「高崎第9合唱団ドイツ公演実現！」の見出しで一斉に報道、読者の関心を呼び起しました。

さて、これにより私たちの立場は一層公的なものになり、その責任も倍加してきたわけです。ハイデルベルグ市長からも「観光目的にはしないで欲しい」と、この公演が文化交流目的であることをはっきりと指摘しています。この公演成功の鍵はただ一つ、それは私たち、情熱と使命感を持つことだと思います。これからは、「第9」を行動の中心に置き、練習を休まず素晴らしい第9合唱を創り上げる努力を積み重ね、音楽内容のある「第9」を持ってドイツへ行こうではありませんか。

日独協会一周年記念総会

高崎第9 合唱で国際交流

去る4月16日、群馬県民会館において「ぐんま日独協会」設立1周年記念総会が行われ、当日はドイツ大使

館のほか、日本留学中の学生も参加。ハイデルベルグ市の学生も2名程居りました。高崎第9合唱団は、この記念レセプションのアトラクションに招かれ、塚越玲子先生の指揮で「赤い靴」と「月の砂漠」を唱い、参会者に大歓迎されました。福田朋英運営委員もドイツ語で高崎第9を紹介、大使館の人々も大きくうなづいていました。田上先生からも「是非ドイツで頑張ってきて下さい。成功を祈ります。」と激励され、ドイツ語の歌が交う中、国際交流の楽しさを実感として味わうことができました。

University of
Michigan Men's Glee Club

5月20日(土)12:30より音楽センターで、ミシガン大学メンズ
グリークラブの公演があります。希望者には入場券を差上げ
ます。又夜6:00より高崎ビューホテルで、グリークラブを
囲みディナーパーティを楽します。但し¥3,000。国際交
流を是非お楽しみ下さい。通訳多数、不憚心配。

次の練習は5月28日です。

'89 團員募集

初心者歡迎

(ドイツ公衆にも固に合います)

発声式 '89.6.8(木) PM 6:30

高崎市高松町カリフ教会内練習場

入会金 ¥2,000

团费一般¥6.000 高校以下¥3.000

5月25日 総会日より会場受付開始

BEETHOVEN
SYMPHONY

6月8日より木曜レッスン

ドイツ公演成功に全力傾注

国際交流に恥じない合唱づくりを!

ドイツ公演の出版まで余すところ僅か 112日となりました。ここまで迫り着くには約3年の歳月と、その間多くの人々の陰の協力があつたからこそです。最初ドイツ公演のアイデアが出された時は誰もが賛成しました。しかし、一歩会議の席を離れると「ま、夢みたいな話だね」と極めて信用性に乏しいものでした。その当時は未だ民間の国際交流といっても旅行会社や放送局などが主体で、いわゆる海外への窓口を自分のところで行っている所が企画者でした。従って交流イベントもプロ集団によるものが殆んどでした。

高崎第9合唱団はベートーヴェンの第九だけしか演奏しない合唱団ですが、人口が少い地方都市では、毎年同じ合唱を続けていくのはかなりむずかしいことです。そこで創造性を最も重点とした合唱づくりに意を注ぎ、意欲的に組織の活性化を目指しています。県内でも他の合唱団に先駆け、次々と新機軸を打ち出していますが特に10周年にはNHK交響楽団を、11回演奏会では、初の外人指揮者を、第14回からはオケ伴による合唱(オケ以外)も加え、クラシックコンサートをより市民に理解し身近かなものとして蓄えるような啓蒙も活動目的の一環として行ってきました。

そして今回の初の海外公演実現となった訳ですが、ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」のモチーフ「たけよ、さらば肉われん!」をまさに地でいった感じです。「希みは高く」そして、「夢は大きく」持って「努力」することです。このことが私たちの人生に、今一番必要なことなのではないでしょうか。

ドイツ公演に対する練習は未だ緒に着いたばかりですが、9月までには国際交流の名に恥じない立派な合唱を作り上げなければなりません。その為には木曜レッスンを一日たりとも休まない努力を惜しまないことです。同時に混声合唱はバランスです。現在の状況は女性の数に比較すると男性の数が著しく少ない状態です。参加出来ない方はそれなりの理由があると思いますが、男性の確保について、個々に勧誘するよう努めて下さい。

初めての海外演奏と国際文化交流ということで未知の部分が多いと思われますが、各人の積極的な協力が、ドイツ公演の成功に結び着くよう、活動される事を期待します。

ドイツ公演 出発スケジュール決る

行動は自分自身で
責任持って.....

待望のドイツ公演も、あと4ヶ月後とせまってきました。諸々の準備に追われる忙しい毎日が続く中、旅行の日程も着々と煮詰まっています。パスポートの取得に関しては7月~9月がシーズンラッシュとなり時間がかかりますので早目に取るようにして下さい。又希望者が多ければ、県庁から、手続のための取費減免の便宜等もあるようなので出来れば一括して行いたいと考えています。詳細については別途にお知らせします。

とりあえてフライトの出発時間が決定しましたので、このスケジュールに合わせ、個人の諸準備を整えて下さい。

■ 出発スケジュール

■ 集合日時 1989年9月27日(水) 15:00 高崎駅東口集合、出発(貸切バス)
19:00 成田空港着

■ チェックイン 19:00~19:45 ■ 出発 21:45 → ヨーロッパへ

※ 当日勤務等の都合で直接成田へ行かれる方はあらかじめ団の方へお申込下さい。

成田空港での集合場所等をご連絡致します。

※ 成田往復のバス代は別途負担です。(人数によって変動あり) 約10,000~15,000円

■ 本日 阪急旅行社より旅行についての詳細説明がありますので、ご不明の点はご遠慮なくお聞き下さい。

■ 注意、団体旅行とはいえ、国内旅行とは違いますので、行動時刻については個人々々が正確に把握して下さい。乗り遅れや、思いちがい等があっても、団では責任を持ちません。他人を頼りにするのではなく、自分自身で責任を持った行動をとりましょう。

1988の第9ニュースは本号が最終

6月8日の練習日より木曜毎に発行

1988年度の第9ニュースは、本号を最終号とします。例年は総会前を区切りとしていましたが、今年はドイツ公演実施の為、練習日が日曜となりその為総会後ですが、'88年度分のニュースに繰り入れることにしました。6月8日より1989年度の練習が、12月2日の演奏会に向って開始されます。従ってオケニュースも毎週木曜日の発行となります。月1回の日曜ドイツレッスンには発行しませんので、ご諒解下さい。なお1988年度ニュースの縮刷版をできるだけ早く作成して届けたいと思っています。来年度もよろしく。〈編〉